

V 資料編 調査票及び単純集計結果

1 市民（18 歳以上）

調布市民福祉ニーズ調査【市民（18 歳以上）】

誰もが暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願いします～

市民の皆さまには、日頃から調布市の福祉行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを確実に進めることに市民の皆さまの意見をいやすため、18 歳以上の中から 2,000 人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和 7 年 10 月 調布市長 長友 貴樹

皆さまの回答は、誰もが暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立てます。

調布市の福祉は市民が主役です。例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。



市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまが一緒になって、みんなで支え合うことがとても大切になります。

i

回答者は、封筒のあて名ご本人です。
ただし、ご本人が回答することが難しい場合、ご家族や代理の人がご本人の意見を聞いて記入しても差し支えありません。

ぱらぱらちようふ
つなげよう、ひろげよう、共に進めるまち

調布市民福祉ニーズ調査【市民（18 歳以上）】

～記入についてのお問い合わせ～

【回答期限】 令和 7 年 11 月 4 日（火） 【回答所要時間】 30 分（目安）

【回答方法】 郵送 または インターネット

※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください。

《郵送》 調査票による回答の方法

- ① 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、() に具体的な内容を記入してください。
- ② 質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ③ 回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》 回答の方法

- ① 以下の URL、または二次元コードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。
- ② 調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③ 回答の途中で保存することができます。

<専用ウェブサイト URL>

<https://smilesurvey.co/s/5508e80/o>



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 福祉総務課

電話 042-481-7101（直通）

Fax 042-481-7058

E-mail fukusou@city.chofu.lg.jp



1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	39.6%	2 女性	58.7%	3 その他	0.4%	無回答	1.3%
------	-------	------	-------	-------	------	-----	------

問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年10月1日現在)

1 10歳代	1.3%	3 30歳代	12.9%	5 50歳代	18.2%	7 70歳代	14.5%
2 20歳代	8.5%	4 40歳代	15.9%	6 60歳代	15.5%	8 80歳以上	12.2%
							無回答
							1.0%

問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)		
1	東つじヶ丘1丁目, 2丁目	緑ヶ丘	仙川町
13.7%	西つじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目	若葉町1丁目	
2	東つじヶ丘3丁目	菊野台	入間町
13.0%	西つじヶ丘4丁目	若葉町2丁目, 3丁目	
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目	調布ヶ丘3丁目	柴崎
8.9%	深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目	深大寺東町3丁目, 4丁目	
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目	深大寺北町	
7.8%	深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目	深大寺南町4丁目, 5丁目	
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目	佐須町3丁目	
14.1%	布田2丁目, 3丁目	調布ヶ丘2丁目	八雲台
6	国領町6丁目, 7丁目	布田5丁目, 6丁目	
12.1%	多摩川6丁目, 7丁目	染地	
7	多摩川1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目	調布ヶ丘1丁目, 4丁目	
15.4%	布田1丁目, 4丁目	深大寺元町1丁目	下石原1丁目 小島町
8	上石原	富士見町	西町
14.1%	下石原2丁目, 3丁目	飛田給	野水
無回答	1.0%		

問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

1 1年未満	3.4%	4 5年以上10年	11.9%	7 30年以上	32.1%
2 1年以上3年未満	6.2%	5 10年以上20年未満	21.1%	無回答	1.6%
3 3年以上5年未満	6.3%	6 20年以上30年未満	17.4%		

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

1 持ち家(一戸建て)	40.8%	5 公営住宅(市営・都営住宅等)	4.5%
2 持ち家(集合住宅)	23.7%	6 社宅・公務員住宅等	1.1%
3 民間賃貸(一戸建て)	1.2%	7 上記以外	1.6%
4 民間賃貸(集合住宅)	25.0%	無回答	2.1%

問6 同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

1 ひとり暮らし	18.0%	5 ひより親と子ども(一番下の子どもが18歳以上)	5.6%
2 夫婦のみ	25.1%	6 ひより親と子ども(一番下の子どもが18歳未満)	1.2%
3 夫婦と親(二世帯同居)	1.7%	7 三世帯同居	3.4%
4 夫婦と子ども(二世帯同居)	35.3%	8 上記以外	7.8%
			無回答
			1.9%

問7 現在の職業を教えてください。(1つに○)

1 正職の社員・職員・役員	36.7%	5 学生	2.8%
2 非正職の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)	19.7%	6 無職	18.8%
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)	5.5%	7 上記以外	1.7%
4 専業主婦・主夫	12.7%	無回答	2.1%

2 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問8 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○)

1 家を行き来するなど、親しくしている	5.7%	3 あいさつをする程度	55.3%
2 立ち話をする程度	22.5%	4 ご近所付き合いをしていない	14.2%
			無回答
			2.3%

問9 どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。(それぞれ1つに○)

	とても感じる	感じる	あまり感じない	わからない	無回答
ア 緊急時や災害時の助け合いが必要なとき	34.5%	44.5%	10.1%	3.4%	2.8%
イ 日常生活でちょっとした困りごとがあるとき	7.3%	31.6%	37.6%	16.7%	3.5%
ウ 子どもたちの見守り・安全確保	15.4%	43.0%	17.5%	10.1%	5.3%
エ 高齢者やひとり暮らしの人の支援・見守り	18.3%	44.9%	17.6%	7.8%	3.9%
オ 話し相手や相談相手が必要なとき	7.0%	28.2%	34.4%	22.4%	3.1%

問10 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○)

	ない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
ア 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	28.6%	27.9%	32.7%	8.4%	2.4%
イ 自分は取り残されていると感じることがある	42.4%	38.0%	14.6%	1.8%	3.1%
ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	44.3%	37.3%	13.6%	1.6%	3.1%
エ 自分は孤独であると感じることがある	45.5%	34.0%	14.9%	2.7%	2.9%

問11 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお答えください。
あなたはどのくらい家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、お答えください。
(それぞれ1つに○)

同居していない相手のコミュニケーション方法	週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間以上回程度	月1回程度	月1回未満	全くない、できない	無回答
ア 直接会って話す(話し等を含む)	16.6%	13.9%	12.7%	10.8%	17.2%	18.3%	6.6%	4.0%
イ 電話(ビデオ通話含む)	7.8%	11.0%	12.3%	10.9%	17.9%	20.7%	14.7%	4.7%
ウ SNSや電子メールなど	27.8%	14.8%	12.7%	9.7%	9.7%	8.2%	11.4%	5.6%

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、X(旧 Twitter)、LINE、Facebook 等の登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス。



3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問12 あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること(していいこと)はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。

	①手助けしてほしいか			②手助けできるか		
	とてもいい	してほしくない	無回答	できる・しなくてもいい	できない・しない	無回答
ア 安否確認の声かけ	53.2%	38.7%	8.0%	73.3%	18.4%	8.3%
イ ちょっとした買い物やごみ出し	13.2%	78.4%	8.4%	49.4%	42.9%	7.8%
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	9.2%	82.5%	8.3%	25.6%	66.1%	8.2%
エ 通院の送迎や外出の手助け	15.2%	76.5%	8.3%	27.2%	64.2%	8.7%
オ 子どもの預かり	13.4%	73.7%	12.9%	23.6%	68.3%	8.1%
カ 話し相手や相談相手	23.2%	67.5%	9.3%	47.7%	44.3%	8.0%
キ 災害時避難の手助け	69.7%	22.3%	8.0%	72.6%	19.4%	8.0%
ク 具合がよくない際、病院などに連絡する	47.9%	43.8%	8.2%	66.5%	26.1%	7.5%

問13 家族以外のまわりの人に、問12 A～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み	48.3%
2 手助けしてほしい人や事例を知ることのできる仕組み	44.5%
3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み	33.8%
4 その他	2.1%
5 取組は必要ない(できる時はする)	13.0%
6 わからない	14.5%
無回答	5.4%

問14 あなたは地域での活動に参加したり、地域のために日頃から心掛けていっていることはありませんか。
①現在の状況、②今後の意向をお答えください。(それぞれ1つに○)

	①現在の状況			②今後の意向					
	取り組んでいる活動を含む	取り組んでいない	無回答	取り組みたい	興味がある	取り組みまない、興味がない	わからない	無回答	
ア	子育て世帯・青少年を支える行動や活動、子ども会やPTAの活動	8.7%	85.2%	5.2%	6.2%	22.5%	29.3%	35.2%	8.8%
イ	高齢者を支える行動や活動	10.3%	83.2%	5.5%	8.5%	53.9%	10.5%	18.5%	8.5%
ウ	障害のある人を支える行動や活動	8.0%	85.2%	5.8%	8.2%	29.4%	20.1%	35.7%	8.5%
エ	お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	11.3%	82.5%	5.3%	10.5%	50.9%	15.4%	14.4%	8.4%
オ	交通安全や犯罪防止など、地域の安全を守る活動	9.8%	84.1%	6.1%	10.1%	28.0%	23.8%	25.3%	8.8%
カ	防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	10.9%	82.7%	5.4%	10.4%	58.1%	9.2%	13.9%	8.4%
キ	道徳等のごみ拾い、自宅周辺の清掃、環境美化、環境保全・自然保護などの活動	17.4%	76.7%	5.8%	9.5%	23.5%	31.5%	27.3%	8.2%
ク	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	12.1%	81.7%	5.2%	18.5%	39.7%	17.3%	16.0%	8.0%
ケ	趣味・習いごと・健康づくり(運動・スポーツ)などの活動	31.4%	62.9%	5.7%	25.3%	30.1%	17.1%	19.2%	8.3%

問15 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。
(いくつでも○)

1	子どもの世話や介護で忙しくて	8.4%	7	参加することでメリットがある(報酬など)	18.7%
2	活動や団体に所属する情報を紹介してくれる	22.9%	8	活動資金の補助や補助がある	13.2%
3	友人・知人と一緒に参加できる	25.1%	9	その他	3.5%
4	時間や期間にあまりしられない	56.7%	10	わからない	11.3%
5	身近なところに活動できる場所がある	43.5%	11	条件によらず、参加したくない	8.1%
6	世話人やリーダーがいる	15.8%		無回答	5.3%

4 暮らしのことについておたずねします

問16 これまでに経済的に困った経験がありますか。(1つに○)

1	現在困っている	10.4%	3	困ったことはない	65.4%
2	現在は困っていないが、困ったことがある	18.8%		無回答	5.4%

付問 問 16 で「1～2(困っている、困ったことがある)」と答えた人におたずねします。困っている(困った)原因は何ですか。(いくつでも○)

1	仕事をしない・できない	20.0%
2	収入が少ない(年金含む)	57.4%
3	頼れる家族や友人がいない	10.7%
4	病気があり・家族の介護	20.0%
5	障害がある	5.9%
6	支出が多い(収入はあるが、使いすぎしてしまう)	20.0%
7	ギャンブルやアルコールへの出費	2.2%
8	食料品や生活必需品などの物価の高騰	46.7%
9	その他	10.7%
	無回答	1.1%

問17 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことにについてお答えください。(1つに○)

1	仕事や学校等で週に5日以上外出する	46.6%
2	仕事や学校等で週に3～4日外出する	13.4%
3	遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する	10.8%
4	人づきあいのためにときどき外出する	7.3%
5	普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	7.9%
6	普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	7.5%
7	自宅からは出るが、家からは出ない	0.9%
8	自宅からはほとんど出ない	0.4%
	無回答	5.2%

付問1 問17で「5～8」のいずれかに答えた方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○)

1	3か月未満	11.0%	3	6か月～1年未満	7.8%
2	3か月～6か月未満	8.4%	4	1年～5年未満	37.7%
			5	5年～10年未満	13.6%
			6	10年以上	17.5%
				無回答	3.9%

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに答えた方にうかがいます。

あなただけの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

1 病気	22.0%	7 就職活動がうまくいかなかったこと	3.4%
2 介護・看護を担うことになったこと	5.9%	8 人間関係がうまくいかなかったこと	3.4%
3 (就労中) 自宅で仕事をしている	12.7%	9 退職したこと	27.1%
4 学校になじめなかったこと	0.0%	10 その他	13.6%
5 職場になじめなかったこと	1.7%	11 特に理由はない	20.3%
6 受験に失敗したこと(高校・大学等)	0.8%	12 わからない	0.0%
無回答			5.9%

問18 あなただけ以外で、市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。(1つに○)

1	普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	11.1%
2	普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	6.5%
3	自宅からは出るが、家からは出ない	1.3%
4	自宅からはほとんど出ない	0.5%
5	いずれもない	58.4%
6	外出状況がわからない	7.3%
無回答		14.8%

→付図へ

付問1 問18で「1～4」のいずれかに答えた方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態となった、どのくらい続きますか。(1つに○)

1 3か月未満	12.2%	3 6か月～1年未満	8.3%
2 3か月～6か月未満	3.3%	4 1年～5年未満	31.1%
		5 5年～10年未満	10.0%
		6 10年以上	29.4%
無回答			5.6%

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに答えた方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

1 病気	21.1%	6 受験に失敗したこと(高校・大学等)	0.0%
2 介護・看護を担うことになった	7.0%	7 就職活動がうまくいかなかったこと	3.5%
3 (就労中) 自宅で仕事をしている	5.6%	8 人間関係がうまくいかなかったこと	0.7%
4 学校になじめなかったこと	0.7%	9 退職したこと	23.2%
5 職場になじめなかったこと	1.4%	10 その他	16.2%
		11 特に理由はない	19.7%
		12 わからない	6.3%
無回答			8.5%

問19 あなただけの地域で次のような世帯を見たり、聞いたことがありますか。(いくつでも○)

1 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)	7.5%
2 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)	11.5%
3 近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯)	7.7%
4 自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯(ひきこもり ^{※1})	5.4%
5 高齢の親がひきこもり状態にある中高年の子どもの生活を支えている世帯(8050問題)	2.5%
6 子育てと親の介護をむりやり同時に抱えている世帯(ダブルケア)	1.0%
7 未成年の子どもが家族の介護などによって、自分の時間をとれない世帯(ヤングケアラー ^{※2})	0.5%
8 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待)	1.9%
9 上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯	1.3%
10 見たり、聞いたことはない	68.7%
無回答	6.3%

※1 ひきこもりとは、様々な要因の阻害として社会的参加(就学、就労、家庭外での交流など)を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(地帯と交わらない形での外出をしないでよい)

※2 ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを子どもが日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことをできないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どものこと。

問20 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

1 同居の家族	62.4%	11 調布ライフサポート ^{※2} (社会福祉協議会)	0.6%
2 別居の家族や親戚	56.3%	12 子ども・若者総合支援事業こあ	
3 自治会や近所の人	6.3%	(社会福祉協議会)	0.2%
4 友人・知人	56.2%	13 こころの健康支援センター	
5 仕事・学校関係者		(社会福祉協議会)	0.9%
6 民生委員・児童委員	23.1%	14 社会福祉協議会(その他の相談窓口)	1.3%
7 ケアマネジャー(介護支援専門員)	1.4%	15 地域包括支援センター	3.9%
ヘルパー(介護員)などの事業者	6.2%	16 ちようふ若者サポートステーション ^{※3}	0.3%
8 かかりつけ医や保健師などの医療関係者	13.1%	17 子ども家庭支援センターすこやか	1.6%
9 市役所	6.1%	18 その他	1.4%
10 地域福祉コーディネーター ^{※1}		19 身近に相談できる人や機関はない	5.0%
無回答			2.7%

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 調布ライフサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

※3 ちようふ若者サポートステーションは、15～49歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

コラム ■ 調布市におけるひきこもりの相談窓口について

調布市には、ひきこもりで悩んでいるときに気軽に相談できる窓口があります。
窓口ではご家族からの相談にも応じています。

- 子ども・若者総合支援事業「こあ」(主に中学生以上の子ども・若者)
子ども・若者とそのご家族を対象として、学校・仕事・家庭生活に関することなど、様々な
困りごとの相談をお受けしています。電話やメール、面談などによる相談が可能です。
- 調布市こころの健康支援センター (主に高校生世代以上の方)
日常生活の困りごと、対人関係の悩み、作業所や就職、福祉サービスの利用、ひきこもり
などについてご相談をお受けします。
相談は予約制です。お電話にてご予約いただいた後、面接日を設定します。



ひきこもりに関する相談窓口の詳細はこちら ⇒

問21 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

1 はい	7.3%	→付問へ	2 いいえ	88.4%	無回答	4.3%
------	------	------	-------	-------	-----	------

付問 問21で「はい」と答えた方におたずねします。

差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

1 自分・配偶者の健康・病気	22.4%	7 住まい	19.4%
2 自分・配偶者の学業・仕事	9.0%	8 お金(財産管理・相続含む)	40.3%
3 親の健康・病気・介護	23.9%	9 人間関係、人との付き合い方	20.9%
4 兄弟姉妹の健康・病気・介護	9.0%	10 その他	14.9%
5 子ども、孫の学業・仕事	10.4%	無回答	1.5%
6 子ども・孫の健康・病気	7.5%		

問22 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)

1 子育て、子どもの教育のこと	13.7%	8 ご近所付き合い、友だち付き合いのこと	5.6%
2 健康のこと	24.9%	9 防犯、地域の安全のこと	21.5%
3 介護のこと	16.8%	10 災害時のこと	31.9%
4 老後の生活のこと	33.8%	11 気軽に相談できる人(相談)が少ないこと	6.5%
5 住まいや住宅のこと	18.2%	12 その他	2.6%
6 仕事のこと	14.2%	13 特になし	25.0%
7 経済的なこと	17.0%	無回答	5.6%

5市民の権利を守る取組についておたずねします

問23 市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	知っている	(内聞 いた 人は 知らない 人がある)	知らない	無 回答	説明
ア 成年後見制度	39.3%	31.9%	25.9%	2.9%	認知症・知的障害・精神障害・発達障害などによって物事を判断する能力が十分でない人について、本人の権利を守る後見者(成年後見人など)を選ぶことで、本人を法的に支援する制度。
イ 法定後見制度	25.9%	29.9%	40.7%	3.6%	本人の判断能力が不十分になった後、家庭裁判所によって成年後見人などが選ばれる制度。本人の判断能力の状態などに応じて「後見」「後見」(後見)補助の3つの制度がある。
ウ 任意後見制度	19.4%	25.5%	51.2%	3.9%	本人に十分な判断能力があるうちに、将来、判断能力が低下した場合には、あらかじめ本人自らが選んだ人(任意後見人)に代わりに行いたいことを契約(任意後見契約)で法で定める制度。
エ 市民後見人	6.3%	16.1%	73.4%	4.2%	社会貢献的な精神に基づき、成年後見人などとしての必要な知識と技量を身に付け、家庭裁判所が選任した一般市民の成年後見人などのこと。
オ 専門職紹介制度	4.0%				親族でもなく、弁護士などの専門職でもない、第三者の立場で、判断能力が十分でない人の金銭管理や福祉サービス利用契約などを本人に代わって行い、本人の暮らしを支援する。
カ 地域福祉権利擁護事業	5.3%	11.9%	79.2%	3.6%	第三者後見人による支援を必要としている市民に、多摩南部成年後見センターに登録している弁護士・司法書士・社会福祉士を紹介する制度。
キ あんしん未来支援事業	1.8%	8.0%	86.0%	4.1%	高齢者や障害のある方に対して、福祉サービス利用の援助、郵便物の確認や書類手続き、預貯金の入出金や支払い手続き等を支援する。
					急な入院時等に頼れる親族がいなくても、安心して地域で暮らし続けることができるよう、事前に支援内容を契約し、必要な時に金銭の管理や保証機能を行うサービス。



問24 あなたやご家族のどんなことが認知症などによって判断が十分にできなくなってしまう場合、あるいは既にできない場合、前問(問23)のいずれかの制度や事業を利用したいと思いますか。

(1つに○)

1 既に利用している	1.8%	2 利用を検討する	61.4%	3 利用しない	5.8%	4 わからない	26.1%
無回答	4.9%						

付問 問24で「3利用しない」「4わからない」と答えた方におたずねします。

制度を利用しない、または、わからないと答えた主な理由は何か。(いくつでも○)

1 制度の内容や利用方法がわからない	53.6%
2 事務手続きが難しい	14.9%
3 後見人などの第三者に財産管理や契約手続きを任せるのは不安	21.7%
4 経済的な理由や身寄りがいないために、申立てが難しい	4.7%
5 家族などに支援してもらいたい	36.9%
6 その他	7.8%
無回答	5.1%

6誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問25 災害時についての不安や心配ごとはありますか。(いくつでも○)

1 老朽化など、お住まい(家屋)のこと	25.5%	5 ご自身の歩行に不安があること	8.4%
2 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	21.4%	6 同居のご家族の歩行に不安があること	9.0%
3 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	47.4%	7 その他	7.1%
4 避難所がはつきりわからないこと	20.0%	8 特に不安や心配ごとはない	19.8%
		無回答	3.8%



コラム■地域共生社会の充実に向けて

地域共生社会とは、あらゆる地域住民が排除されず地域社会に参画し、お互いの人格と個性を尊重し合いながら、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、皆が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域社会です。

市は、地域共生社会の充実に向けて様々な取組を行っています。

『調布市地域福祉計画』についてはこちら⇒



『調布市高齢者総合計画』についてはこちら⇒



『調布市障害者総合計画』についてはこちら⇒

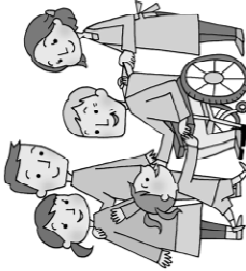


問26 地域のつながりに対する考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ1つに○)

	よく思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答
ア ひきこもりやニート ^{※1} の問題は、本人や家族だけでなく、地域のつながりが重要となる	13.0%	46.8%	28.7%	9.1%	2.5%
イ 認知症や老老介護の問題は、本人や家族だけでなく、地域のつながりが重要となる	22.7%	60.1%	12.4%	3.0%	1.7%
ウ 障害や病気があって自分らしく暮らすためには、地域のつながりが重要となる	21.5%	60.0%	13.2%	3.0%	2.3%
エ ひとり親家庭の自立を支援するためには、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	23.3%	58.9%	12.4%	3.0%	2.4%
オ 家庭内の虐待を防ぐことは、本人や家族だけでなく、地域のつながりが重要となる	26.9%	56.1%	10.7%	3.2%	3.0%
カ DV ^{※2} 被害を防ぐことは、本人や家族だけでなく、地域のつながりが重要となる	22.5%	54.8%	15.0%	4.5%	3.1%
キ 生活保護を受けている人に対する差別や雇用の問題は、社会全体の問題である	22.1%	50.6%	18.9%	5.5%	2.8%

※1 ニートとは、若者のうち、学校や仕事に行かず、求職活動や職業訓練などをしていない人。

※2 DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振られる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的・経済的・性的な暴力など、あらゆる暴力を含む。



問27 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザイン※について、どのように感じていますか。
(それぞれ1つに○)

	とても素晴らしい	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入りや通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	1.6%	24.9%	39.1%	10.4%	21.4%	2.6%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	3.2%	45.7%	24.5%	6.4%	17.4%	2.8%
ウ 車いすの人や乳幼児を運べた人など、誰もが使いやすいトイレ	2.4%	32.6%	32.7%	7.3%	22.3%	2.8%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)を取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路	1.4%	16.5%	41.9%	22.4%	15.2%	2.7%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	2.3%	30.0%	26.8%	7.8%	29.7%	3.5%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシー	2.5%	24.2%	26.7%	10.0%	33.4%	3.1%
キ 障害者の駐車場	2.1%	24.1%	22.8%	7.5%	40.5%	3.0%
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた、誰もがわかりやすい案内標示	1.4%	17.4%	31.6%	10.8%	35.4%	3.4%
ケ 手話の対応や音声ガイドがある施設	0.9%	7.0%	26.0%	12.2%	50.6%	3.2%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された古・レストランなど	0.6%	5.7%	22.9%	14.6%	52.5%	3.6%
サ 公園、道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン	1.5%	18.6%	29.5%	11.6%	35.7%	3.0%
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	1.4%	15.3%	29.2%	10.8%	40.6%	2.7%

※ユニバーサルデザインとは、障害の有無・年齢・性別・人種などに問わず、多様な人が利用しやすいよう、事前に環境などをデザインすること。

問28 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

1 学校において、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育	50.0%
2 意識啓発のための研修・講演会の開催	8.2%
3 多様な背景をもつ人々が交流する機会の増加	30.5%
4 わかりやすい、使いやすい情報の提供	56.5%
5 その他	2.9%
6 わからない	10.0%
無回答	2.9%

問29 共生社会の実現のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	(内容を知らない) 聞いたり見たりはしている	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別解消法	8.1%	18.8%	70.1%	2.9%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	9.3%	18.2%	69.5%	3.0%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらい点)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
ウ パラハートちようふ	5.6%	26.8%	64.5%	3.0%	「様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という思いを込めて作成した調布市のキャッチフレーズ
エ 調布市手話言語条例	1.5%	7.7%	87.7%	3.1%	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	0.9%	7.6%	88.3%	3.2%	障害者の特性に応じた多様な意思疎通(コミュニケーション)のための手段、配慮、支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例

「調布市手話言語条例」

「調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例」についてはこちら⇒



「パラハートちようふ」についてはこちら⇒



i

コラム

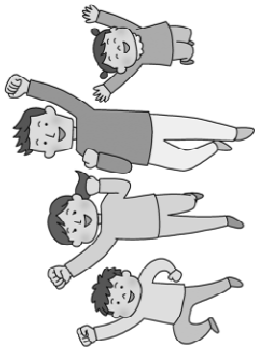
■東京2025デフリンピックが調布にやってくる！

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。

デフリンピックは国際的な「聞こえない人のためのオリンピック」で、11月15日から26日まで、日本で初めて開催されます。調布市では京王アリーナ TOKYO でバドミントン競技が実施されます。予約不要、入場無料で観戦できます。



▶デフリンピックについて詳しくはこちら



問30 犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの更生(立ち直り)に協力する下記の民間協力者や活動などを知っていますか。(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	聞いたことはある(内容は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 保護官	29.2%	35.0%	31.0%	4.9%	犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティア。保護観察対象者となった人へ保護観察を行う、法務省から委嘱。
イ 更生保護女性会	3.1%	12.0%	79.3%	5.5%	犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行い、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行少年の改善更生に協力する女性ボランティア。
ウ 協力雇用主	9.6%	26.0%	59.1%	5.3%	犯罪をした人等の自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪をした人等を雇用し、または雇用しようとする民間の事業主。
エ BBS会	0.9%	4.3%	89.4%	5.4%	問題を抱える少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくことを支援し、犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティア団体。
オ 再犯防止推進法	3.4%	23.2%	68.3%	5.2%	平成28年12月に、再犯の防止等に関する施策に関する基本理念等を定めた「再犯の防止等の推進に関する法律(再犯防止推進法)」が施行、毎年7月を再犯防止啓発月と定めた。
カ 社会を明るくする運動	5.0%	18.1%	71.3%	5.6%	犯罪や非行の防止と、立ち直り支援への正しい理解を深めるための全国的な運動。毎年7月の強調月間に広報活動を展開している。

2 高齢者（65歳以上）

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者（65歳以上）】

高齢者が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願い～

市民の皆さまには、日頃から調布市の福祉行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを着実に進めることに市民の皆さまの意見をいかに活かすため、65歳以上の中から1,000人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力ををお願い申し上げます。

令和7年10月 調布市長 長友 貴樹

皆さまの回答は、誰もが暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

調布市の福祉は市民が主役です。例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。



市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまが一緒になって、みんなで支え合うことがとても大切になります。

i

回答者は、封筒のあて名ご本人です。
ただし、ご本人が回答することが難しい場合、ご家族や代理の人がご本人の意見を聞いて記入しても差し支えありません。

バラハートちよんぷい
つなげよう、ひらげよう、共に生きよう

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者（65歳以上）】

～記入についてのおお願い～

【回答期限】 令和7年11月4日（火） 【回答所要時間】 30分（目安）

【回答方法】 郵送 または インターネット

※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください。

《郵送》 調査票による回答の方法

- ①回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、（ ）に具体的な内容を記入してください。
- ②質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ③回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》 回答の方法

- ①以下のURL、または二次元コードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答の途中で保存することができます。

<専用ウェブサイトのURL>

<https://smilesurvey.co/s/eh386976/o>



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 高齢者支援室
電話 042-481-7149（直通）
Fax 042-481-4288
E-mail koure@citychofu.lg.jp



1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	40.0%	2 女性	56.2%	3 その他	0.3%	無回答	3.5%
------	-------	------	-------	-------	------	-----	------

問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年10月1日現在)

1 65～69歳	21.3%	3 75～79歳	23.4%	5 85歳以上	17.9%
2 70～74歳	17.7%	4 80～84歳	16.5%	無回答	3.2%

問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)
1	東つつじヶ丘1丁目, 2丁目 緑ヶ丘 仙川町
11.4%	西つつじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目 若葉町1丁目
2	東つつじヶ丘3丁目 菊野台 入間町
9.2%	西つつじヶ丘4丁目 若葉町2丁目, 3丁目
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目 調布ヶ丘3丁目 柴崎
10.4%	深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目 深大寺東町3丁目, 4丁目
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目 深大寺北町
10.4%	深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 深大寺南町4丁目, 5丁目
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目 佐須町3丁目
16.1%	布田2丁目, 3丁目 調布ヶ丘2丁目 八雲台
6	国領町6丁目, 7丁目 布田5丁目, 6丁目
12.5%	多摩川6丁目, 7丁目 染地
7	多摩川11丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 調布ヶ丘1丁目, 4丁目
11.2%	布田1丁目, 4丁目 深大寺元町1丁目 下石原1丁目 小島町
8	上石原 富士見町 西町
14.8%	下石原2丁目, 3丁目 飛田給 野水
無回答	3.9%

問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

1 1年未満	1.3%	4 5年以上10年未満	3.3%	7 30年以上	59.6%
2 1年以上3年未満	2.8%	5 10年以上20年未満	9.6%	無回答	4.3%
3 3年以上5年未満	3.0%	6 20年以上30年未満	16.1%		

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

1 自宅(持ち家)で生活している	72.5%	3 病院に入院している, 施設を利用している	1.4%
2 自宅(賃貸)で生活している	20.5%	4 上記以外	2.5%
無回答			3.0%

問6 同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

1 ひとり暮らし	22.3%	4 上記(1～3)以外で世帯全員が65歳以上	3.9%
2 夫婦のみ(配偶者は65歳以上)	36.5%	5 上記(1～4)以外	28.9%
3 夫婦のみ(配偶者は65歳未満)	5.4%	無回答	3.0%

問7 あなたは現在, 介護を受けていますか。(いくつでも○)

1 家族や親族から介護を受けている	3.2%
2 介護保険制度を利用して介護を受けている	9.8%
3 その他の人から介護を受けている(具体的に:)	0.6%
4 介護を受けていない	85.6%
無回答	2.8%

2 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問8 ご近所付き合いは, どの程度していますか。(主なもの1つに○)

1 家を行き来するなど, 親しくしている	12.5%	3 あいづつをする程度	43.6%
2 立ち話をする程度	34.4%	4 ご近所付き合いをしていない	7.1%
無回答			2.4%

問9 どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。(それぞれ1つに○)

	とても感じる	感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
ア 緊急時や災害時の助け合いが必要など	33.0%	46.6%	8.5%	3.2%	2.7%	6.0%
イ 日常生活でちょっとした困りごとがあるとき	5.4%	39.5%	31.9%	12.0%	3.2%	8.1%
ウ 子どもたちの見守り・安全確保	10.0%	40.0%	16.0%	10.6%	13.6%	10.0%
エ 高齢者やひとり暮らしの人への支援・見守り	16.9%	48.3%	14.4%	5.5%	7.4%	7.4%
オ 話し相手や相談相手が必要など	6.8%	37.8%	30.2%	12.6%	5.5%	7.1%

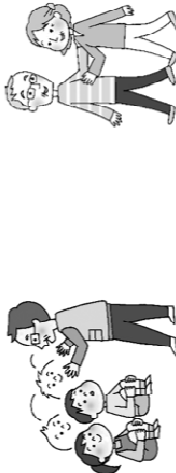
問10 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○)

	ない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
ア 自分には人とのつきあいがないと感じることもある	34.1%	30.3%	24.6%	7.1%	3.8%
イ 自分ばかり残されていると感じることがある	48.8%	35.9%	9.5%	0.6%	5.2%
ウ 自分是他の人们から孤立していると感じることがある	48.3%	35.7%	10.0%	0.8%	5.2%
エ 自分は孤独であると感じることがある	47.7%	34.9%	11.8%	0.9%	4.6%

問11 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についておたずねします。
あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、お答えください。
(それぞれ1つに○)

	週4回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くできない	無回答
同居していない相手とのコミュニケーション方法								
ア 直接会って話す(手話等を含む)	11.7%	17.9%	17.9%	7.7%	19.7%	11.2%	7.6%	6.3%
イ 電話(ビデオ通話含む)	8.4%	11.8%	16.3%	10.4%	15.9%	14.7%	10.6%	10.9%
ウ SNS*や電子メールなど	14.8%	13.1%	11.7%	7.6%	9.5%	8.2%	22.1%	13.0%

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、X(旧 Twitter)、LINE、Facebook 等の登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス。



3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問12 あなたは次の事例について、家族以外の人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること(してよいこと)はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。

	①手助けしてほしいか			②手助けできるか		
	してほしい	なし	無回答	できる	できない	無回答
ア 安否確認の声かけ	44.7%	42.7%	12.6%	61.9%	25.1%	13.0%
イ ちよとした買い物やゴミ出し	14.8%	70.8%	14.4%	42.2%	45.3%	12.5%
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	10.1%	76.3%	13.6%	19.9%	66.2%	13.9%
エ 通院の送迎や外出の手助け	16.4%	69.7%	13.9%	22.1%	64.6%	13.3%
オ 子どもの預かり	6.3%	65.6%	28.1%	16.4%	70.3%	13.3%
カ 話し相手や相談相手	24.8%	58.1%	17.1%	44.2%	42.8%	13.0%
キ 災害時避難の手助け	60.2%	27.2%	12.6%	56.9%	30.8%	12.3%
ク 具合がよくない時、病院などに連絡する	44.4%	40.6%	15.0%	58.8%	28.3%	13.0%

問13 この1年で、家族以外の人から、問12ア～クのような手伝いや手助けをしましたが、また、手伝いや手助けをしてもらいましたか。(それぞれ1つに○)

	1 した	2 なかった(そういう場面はあった)	3 そういう場面がなかった	無回答
① 手伝いや手助けをしたか				
1 した	14.2%			
2 なかった(そういう場面はあった)	3.8%			
3 そういう場面がなかった	77.9%			
無回答	4.1%			
② 手伝いや手助けをしてもらったか				
1 してもらった	13.1%			
2 してもらわなかった(してほしいことはあった)	6.3%			
3 してほしいことがなかった	76.8%			
無回答	3.8%			

問14 家族以外の人から、問12ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み	39.0%
2 手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み	33.5%
3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み	26.1%
4 その他(具体的に:)	2.2%
5 取組は必要ない(できる時はする)	17.2%
6 わからない	22.3%
無回答	5.8%

問15 あなたは地域での活動に参加したり、地域のために日頃から心掛けていることはありますか。①
現在の状況、②今後の意向をお答えください。(それぞれ1つに○)

	①現在の状況				②今後の意向	
	週1回以上 参加している 状況(含む)	月1回以上 参加している 状況(含む)	年1回程度 参加している 状況(含む)	取組まない 無回答	取組まない、 興味がある	取組まない、 興味がない 無回答
ア 子育て世帯・青少年を支える行動や活動	2.2%	2.1%	1.4%	82.9%	11.4%	3.8%
イ 高齢者を支える行動や活動	3.8%	4.1%	5.4%	76.5%	10.3%	6.5%
ウ 障害のある人を支える行動や活動	2.2%	2.5%	4.6%	80.7%	10.0%	4.7%
エ お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	1.9%	1.3%	9.0%	78.0%	9.5%	4.7%
オ 交通安全や犯罪防止など、地域の安全を守る活動	0.9%	1.9%	5.4%	82.3%	9.5%	4.9%
カ 防災訓練や災害時に救護・支援をする活動	1.3%	1.3%	8.8%	79.1%	9.5%	7.3%
キ 道路等のごみ拾い、自宅周辺清掃、環境美化、環境保全・自然保護などの活動	8.2%	6.3%	12.2%	64.3%	9.0%	13.0%
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	3.3%	6.0%	10.7%	70.3%	9.6%	7.1%
ケ 趣味・習いごと・健康づくり(運動・スポーツ)などの活動	24.8%	8.2%	5.2%	53.2%	8.5%	23.5%

問16 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。(いくつでも○)

1 子どもの世話や介護を代わってもらう	2.1%	7 参加することでメリットがある(報酬など)	5.2%
2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる	17.7%	8 活動資金の補助や援助がある	6.5%
3 友人・知人と一緒に参加できる	16.1%	9 その他(具体的に：)	5.1%
4 時間や期間にあまりしほられない	43.4%	10 わからない	21.3%
5 身近なところに活動できる場がある	38.2%	11 条件によらず、参加したくない	9.5%
6 世話人やリーダーがいる	15.5%	無回答	6.8%

4 就労についておたずねします

問17 現在の職業を教えてください。(1つに○)

1 正規の社員・職員・役員	7.4%
2 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	16.7%
3 自由業・自営業(営業手伝いを含む)	7.9%
4 シルバー人材センターの会員	1.4%
5 有償ボランティア	1.4%
6 仕事はしていない	57.8%
無回答	7.3%

付問 問17で1～3(会社などで働いている)と答えた方におたずねします。

現在の職業に就いている経験を教えてください。(いくつでも○)

1 継続雇用	42.4%	3 独立して開業	14.8%
2 再就職(ハローワーク、友人・知人、民間(情報誌・登録など))	27.6%	4 その他(具体的に：)	9.9%
		無回答	5.9%

問18 あなたが仕事をすることを(したいと思う)主な理由は何ですか。(いくつでも○)

1 生活費をまかなうため	28.4%	6 技術や経験をいかしたいから	12.8%
2 健康によいから	21.0%	7 地域に貢献したいから	4.7%
3 働くことに生きがいを感じること	17.4%	8 その他(具体的に：)	2.8%
4 社会参画の手段として	14.5%	9 働くつもりはない	24.6%
5 時間に余裕があるから	10.4%	無回答	28.8%

問19 高齢者が就労する(続ける)ために特に必要なのは何か。(3つまで○)

1 健康・体力	64.9%	6 仕事に合わせる柔軟性	14.8%
2 専門知識・技能	14.8%	7 人脈・知り合い	6.5%
3 協調性・真摯な態度	23.7%	8 定年からの準備	4.9%
4 意欲・情熱	21.0%	9 その他(具体的に：)	0.6%
5 高齢者にあった職場・就労環境	33.3%	10 わからない	7.9%
		無回答	22.7%

5 健康増進、権利擁護の取組についておたずねします

問20 あなたは、健やかに暮らすために、次のことに取り組んでいますか。(それぞれ1つに○)

	今、 取り組 組んで いる	今、取 り組 むが、 後、取 組んで いない	今、取 り組 んでい ないが、 後、取 組んで いない	わ か ら な い	無 回 答
ア 認知症予防	27.0%	34.3%	8.8%	20.4%	9.5%
イ フレイル※予防	32.5%	26.5%	5.7%	23.5%	11.7%

※ 加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能など)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態。

問21 近年、人生のエンディングに向けて、元気なうちからさまざまな準備をする活動が広がっています。
①あなたは、次のような事項をご存知でしたか。②今後、次のような事項を活用したいと思いま
すか。(それぞれ1つに○)

	①認知状況			②今後の意向			説明	
	知っている	知らない	無回答	活用したい	活用しない	わからない		無回答
ア 終活(エンディング)ノート	74.4%	16.1%	9.5%	48.3%	8.7%	31.0%	12.0%	銀行口座などの財産や介護や医療に関する希望、葬儀の内容など、自分の思いや希望を家族など親族に伝えるために書き記すノートのこと。
イ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)	21.5%	64.0%	14.5%	32.9%	5.7%	49.4%	12.0%	自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。

問22 認知症の人やその家族を支えるため、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。
(いくつでも○)

1 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供	37.1%
2 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	60.3%
3 できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	53.7%
4 家族の身体的・精神的負担を減らす取組	54.8%
5 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組	40.9%
6 認知症の人と地域で見守る体制の充実	35.9%
7 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	17.4%
8 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組	36.7%
9 認知症の人が利用できる被害防止体制の整備	56.7%
10 認知症になっても地域で役割をもって暮らし続けられる体制の整備	32.2%
11 認知症にも対応している保険の充実	21.6%
12 その他(具体的に:)	1.1%
13 特になし	5.2%
無回答	6.0%

問23 市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	知っている	聞(た)いた(う)は(あ)る	知らない	無回答	説明
ア 成年後見制度	42.0%	28.3%	24.0%	5.1%	認知症・知的障害・精神障害・発達障害などによって物事を判断する能力が十分ではない人について、本人の権利を守る援助者(成年後見人など)を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度。
イ 法定後見制度	21.6%	33.3%	38.7%	5.8%	本人の判断能力が不十分になった後、家庭裁判所によって成年後見人などが選ばれる制度。本人の判断能力の状態などに応じて「後見」「保佐」「補助」の3つの制度がある。
ウ 任意後見制度	20.1%	28.3%	44.3%	6.5%	本人に十分な判断能力があるうちに、将来、判断能力が低下した場合には、あらかじめ本人自らが選んだ人(任意後見人)に代わりにしてもらいたいことを契約(任意後見契約)で決めておく制度。

	知っている	間(内容)は知らない	知らない	無回答	説明
エ 市民後見人	6.0%	18.0%	70.5%	5.5%	社会貢献的な精神に基づき、成年後見人などとして必要な知識と技量を身に付け、家庭裁判所が選任した一般市民の成年後見人などのこと。親族でもなく、弁護士などの専門職でもない、算三者の立場で、判断能力が十分でない人の金銭管理や福祉サービス利用契約などを本人に代わって行い、本人の暮らしを支援する。
オ 専門職紹介制度	4.3%	11.4%	78.2%	6.2%	第三者後見人による支援を必要としている市民に、多摩南部成年後見センターに登録している弁護士・司法書士・社会福祉士を紹介する制度。
カ 地域福祉権利擁護事業	3.9%	13.9%	76.3%	5.8%	高齢者や障害のある方に対して、福祉サービス利用の援助、郵便物の確認や書類手続き、預貯金の入出金や支払い手続き等を支援する。
キ あんしん未来支援事業	3.0%	8.1%	83.1%	5.8%	急な入院時等に頼れる親族がいなくても、安心して地域で暮らして、けるよう、事前に支援内容を契約し、必要な時に金銭の管理や保証機能を行うサービス。

問24 あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなってしまう場合、あるいは既にできない場合、前問(問23)のいずれかの制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

1 既に利用している	1.3%	2 利用を検討する	47.1%	3 利用しない	0.3%	4 知らない	29.5%
無回答	11.8%						

付問 問24で「3 利用しない」、「4 わからない」と答えた方におたずねします。

1 制度の内容や利用方法がわからない	41.7%
2 事務手続きが難しい	14.7%
3 後見人などの第三者に財産管理や契約手続きを任せるのは不安	26.6%
4 経済的な理由や身寄りがないうために、申立てが難しい	4.4%
5 家族などに支援してもらいたい	59.1%
6 その他(具体的に:)	7.1%
無回答	3.2%

6 暮らしのことについておたずねします

問25 あなたは主にどのような目的で外出をしますか。(3つまで○)

1 食料品や日用品等の買い物	79.6%	7 仕事	30.8%
2 散歩	34.9%	8 地域活動・ボランティア	7.1%
3 健康づくり(運動・スポーツ)	24.8%	9 通院・リハビリ	42.2%
4 趣味活動・習い事	23.2%	10 通所介護サービスの利用	5.7%
5 家族や友人・知人と会う	31.8%	11 その他(具体的に:)	1.9%
6 介護や子ども・孫の世話	4.7%	12 外出しない	0.9%
		無回答	0.9%

付問 前問(問25)で1～11(様々な目的で外出をする)のいずれかに答えた方におたずねします。

利用している移動手段は何ですか。(いくつでも○)

1 徒歩	77.6%	7 バス	54.9%
2 自転車	38.5%	8 タクシー	15.6%
3 自家用車等(自分で運転)	23.3%	9 福祉タクシー	0.8%
4 自家用車等(自分以外が運転)	12.6%	10 電車	53.9%
5 介護事業所等の送迎	5.5%	11 その他(具体的に:)	1.6%
6 病院・リハビリ施設等の送迎	3.2%	無回答	0.3%

問26 新型コロナウイルス感染症の流行後、現在のあなたの暮らしにどのような影響がありますか。(それぞれ1つに○)

	増えた	変化なし	減った	わからない	無回答
ア 家族との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	10.3%	75.4%	6.2%	3.8%	4.4%
イ 友人・知人との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	7.1%	65.9%	19.1%	2.8%	5.1%
ウ 生活に必要な外出の頻度(買い物・食事・医療機関の受診など)	6.6%	70.5%	16.9%	1.7%	4.3%
エ 趣味活動や社会参加の外出の頻度(スポーツ・ボランティア・通いの場など)	4.4%	52.8%	20.9%	15.5%	6.5%
オ 体力・筋力	1.7%	47.2%	40.8%	4.9%	5.4%
カ 認知機能の低下や物忘れを自覚する・指摘される頻度	15.0%	63.8%	3.5%	11.7%	6.0%

問27 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことにしてお答えください。(1つに○)

1 仕事や学校等で週に5日以上外出する	21.0%
2 仕事や学校等で週に3～4日外出する	13.3%
3 遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する	19.7%
4 人づきあいのためにときどき外出する	10.0%
5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	11.8%
6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	14.5%
7 自宅からは出るが、家からは出ない	3.2%
8 自宅からはほとんど出ない	1.1%
無回答	5.4%

付問1 問27で「5～8」のいずれかに答えた方にうかがいます。

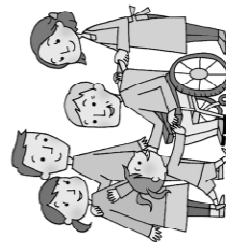
あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい続きますか。(1つに○)

1 3か月未満	11.9%	3 6か月～1年未満	7.7%
2 3か月～6か月未満	2.6%	4 1年～5年未満	39.2%
		5 5年～10年未満	12.9%
		6 10年以上	22.2%
		無回答	3.6%

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに答えた方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

1 病気	32.7%	6 受難に失敗したこと(高校・大学等)	0.0%
2 介護・看護を担うことになったこと	12.6%	7 就職活動がうまくいかなかったこと	0.0%
3 (就労中)自宅の仕事をしている	2.5%	8 人間関係がうまくいかなかったこと	0.6%
4 学校になじめなかったこと	0.0%	9 退職したこと	21.4%
5 職場になじめなかったこと	0.0%	10 その他(具体的に)	20.1%
		11 特に理由はない	20.8%
		12 わからない	3.1%
		無回答	3.8%



問28 あなたは以外で、市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。(1つに○)

1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	12.6%
2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	11.4%
3 自宅からは出るが、家からは出ない	3.0%
4 自宅からはほとんど出ない	0.3%
5 いずれもない	42.5%
6 外出状況がわからない	8.2%
無回答	22.0%

付問1 問28で「1～4」のいずれかに答えた方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態となって、どのくらい続きますか。(1つに○)

1 3か月未満	12.7%	3 6か月～1年未満	4.6%
2 3か月～6か月未満	4.6%	4 1年～5年未満	28.9%
		5 5年～10年未満	12.7%
		6 10年以上	28.3%
		無回答	8.1%

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに答えた方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

1 病気	26.4%	7 就職活動がうまくいかなかったこと	0.8%
2 介護・看護を担うことになったこと	12.4%	8 人間関係がうまくいかなかったこと	2.3%
3 (就労中)自宅の仕事をしている	2.3%	9 退職したこと	24.0%
4 学校になじめなかったこと	0.0%	10 その他(具体的に)	7.0%
5 職場になじめなかったこと	0.8%	11 特に理由はない	23.3%
6 受難に失敗したこと(高校・大学等)	0.0%	12 わからない	4.7%
		無回答	10.1%

1 コラム ■ 調布市におけるひきこもりの相談窓口について

調布市には、ひきこもりで悩んでいるときに気軽に相談できる窓口があります。窓口ではご家族からの相談にも応じています。

- ▶ 子ども・若者総合支援事業「こあ」(主に中学生以上の子ども・若者)
- ▶ 子ども・若者とそのご家族を対象として、学校・仕事・家庭生活に関することなど、様々な困りごとの相談をお受けしています。電話やメール、面談などによる相談が可能です。
- ▶ 調布市こころの健康支援センター(主に高校生世代以上の方)
- ▶ 日常生活の困りごと、対人関係の悩み、作業所や就職、福祉サービスの利用、ひきこもりなどについてご相談をお受けします。

相談は予約制です。お電話にてご予約いただいた後、面接日を設定します。



ひきこもりに関する相談窓口の詳細はこちら ⇒

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問29 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

1 同居の家族	58.1%	11 調布ライオンサポート ^{※1} (社会福祉協議会)	0.3%
2 別居の家族や親戚	53.7%	12 子ども・若者総合支援事業ここあ(社会福祉協議会)	0.5%
3 自治会や近所の人	10.7%	13 こころの健康支援センター(社会福祉協議会)	11.1%
4 友人・知人	44.7%	14 社会福祉協議会(その他の相談窓口)	1.4%
5 仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	5.8%	15 地域包括支援センター	6.5%
6 民生委員・児童委員	0.6%	16 ちょうふ若者サポートステーション ^{※3}	0.0%
7 ケアマネジャー(介護支援専門員)・ヘルパー(介護員)などの事業者	12.2%	17 子ども家庭支援センターすこやか	0.0%
8 かかりつけ医や保健師などの医療関係者	17.7%	18 その他(具体的に:)	1.4%
9 市役所	7.1%	19 身近に相談できる人や機関はない	3.8%
10 地域福祉コーディネーター ^{※1} (社会福祉協議会)	0.8%	無回答	7.4%

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー＝CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 調布ライオンサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

※3 ちょうふ若者サポートステーションは、15～49歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

問30 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上的困りごとを抱えていますか。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

1 自分・配偶者の健康・病気	9.5%	7 子ども・孫の健康・病気・介護・将来	4.7%
2 自分・配偶者の運動機能・体力の変化	6.0%	8 住まい	4.3%
3 自分・配偶者の認知機能の変化	4.3%	9 お金(財産管理・相続含む)	5.1%
4 自分・配偶者の介護	4.7%	10 仕事	2.5%
5 親の健康・病気・介護	1.9%	11 人間関係、人との付き合い方	2.2%
6 兄弟姉妹の健康・病気・介護	2.4%	12 その他(具体的に:)	1.9%
		13 どこに相談すればいいかわからない困りごとはない	45.0%
		無回答	27.6%

問31 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場所はありますか。(1つに○)

1 ある	60.7%	2 ない	30.8%	無回答	8.5%
------	-------	------	-------	-----	------

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問32 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場合、どのような場所を望みますか。(いくつでも○)

1 友人・知人家	26.7%	7 商業施設(飲食店除く)	9.3%
2 文化施設(図書館・資料館など)	17.9%	8 公園・自然	35.7%
3 集会施設(公民館・自治会館・交流スペースなど)	17.9%	9 インターネット・SNS	7.7%
4 福祉施設	4.9%	10 その他(具体的に:)	3.9%
5 運動施設	17.1%	11 必要ない	8.4%
6 飲食店	54.0%	無回答	7.1%

7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問33 お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない	無回答
ア 隣近所などの付き合い	5.4%	54.0%	11.7%	4.9%	19.6%	4.4%
イ 町内会・地区協議会の活動	1.4%	26.4%	10.6%	5.4%	49.6%	6.6%
ウ 地域の交流	1.7%	23.1%	9.5%	6.2%	52.3%	7.3%
エ サークルやボランティアの活動	4.3%	14.8%	6.5%	4.4%	63.3%	6.6%
オ 地域の防災・防犯対策	1.3%	22.3%	11.1%	6.0%	52.3%	7.1%
カ 相談できる体制	0.8%	17.9%	11.1%	6.5%	55.9%	7.9%
キ 買い物などの利便性	19.9%	54.2%	11.8%	5.8%	3.9%	4.3%
ク 道路や交通機関などの使いやすさ	14.4%	55.9%	14.5%	6.2%	4.3%	4.7%
ケ 公的な手続きの利便性	3.9%	43.8%	22.1%	5.1%	19.0%	6.2%
コ 医療機関への通いやすさ	11.8%	59.1%	13.6%	4.4%	6.3%	4.7%
サ 地域での就労の機会	0.9%	8.5%	7.7%	2.2%	70.9%	9.6%

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者（65歳以上）】

問34 高齢者の生活を守る取組や相談窓口などがあります。下記のことをご存知ですか。

（それぞれ1つに○）

	知 て い る	無 回 答	説 明
ア 易守りネットワーク（みまもっと）	42.3%	52.1%	地域住民・協力団体などが、地域の高齢者などの異変や生活上の支援などに気付いたら、その情報を地域包括支援センターに連絡する活動。
イ 高齢者虐待防止法	26.7%	66.7%	高齢者を虐待から守ることを目的として平成18年4月に施行されている。高齢者虐待とは、身体的暴行のほか、心理的外傷を与える言動、世話の放棄、財産の不当な処理なども含む。
ウ 調布市消費生活相談室	41.2%	52.4%	買物相談をはじめ、悪質商法の被害など、市民の消費生活に関するさまざまなトラブルや相談に対応している。
エ 地域包括支援センター	63.5%	31.3%	高齢者やその家族が地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関するさまざまな相談ができる総合相談窓口。
オ 「くらしの案内～シルバー編～」	23.1%	70.8%	高齢者向けに行っている各種事業を市民にお知らせするため、毎年、発行している冊子。
カ 調布ライフサポート	10.4%	83.1%	経済的な理由などで生活にお困りの人に対する「ターナ」な相談窓口。
キ 住まいぬくもり相談室	5.5%	87.4%	適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービス、行政支援などを紹介している。
ク シルバー人材センター	79.0%	15.3%	60歳以上の会員に対する雇用によらない「臨時・短期的な就業や、軽易な業務に係る就業の機会を提供している公益社団法人。

問35 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザイン[※]について、どのように感じていますか。

（それぞれ1つに○）

	し ど こ も の 人 が 使 い やすい	充 分 な 支 援 が あ る	あ い り な い	な い	わ か ら ない	無 回 答
ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）	0.9%	19.3%	31.9%	11.1%	31.3%	5.5%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	1.7%	38.9%	22.9%	4.9%	27.2%	4.4%
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人など、誰もが使いやすいトイレ	1.4%	27.3%	28.6%	5.1%	32.7%	4.9%
エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路	1.1%	13.4%	40.0%	17.7%	23.1%	4.7%
オ 点字ブロッカーや視覚障害者の信号機	1.1%	27.2%	26.5%	5.5%	34.4%	5.2%

15

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者（65歳以上）】

	し ど こ も の 人 が 使 い やすい	充 分 な 支 援 が あ る	あ い り な い	な い	わ か ら ない	無 回 答
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタキシング	0.8%	21.0%	25.0%	4.9%	40.3%	8.1%
キ 障害者用の駐車場	0.3%	17.4%	20.2%	4.1%	49.9%	8.1%
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた、誰もがわかりやすい案内表示	0.6%	13.4%	27.5%	7.4%	42.5%	8.5%
ケ 手話の対応や音声ガイドがある施設	0.0%	3.9%	18.5%	6.3%	62.7%	8.5%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.0%	3.2%	17.1%	9.0%	62.6%	8.2%
サ 公園・道路などを含み、まち全体のユニバーサルデザイン	0.2%	10.7%	22.3%	7.1%	51.3%	8.4%
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	0.8%	11.5%	24.5%	8.7%	46.6%	7.9%

※ ユニバーサルデザインとは、障害の有無・年齢・性別・人種などに限らず、多様な人が利用しやすいよう、事前に環境などをデザインすること。

問36 共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。（それぞれ1つに○）

	内容を知っている	内容を知っているが、知らない部分がある	無回答	説明	
ア 障害者差別解消法	5.4%	23.1%	64.1%	7.4%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	3.8%	13.3%	75.0%	7.9%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア（生活がしづらくなる社会制約）を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
ウ パラハートらうふ	5.1%	24.5%	63.3%	7.1%	「様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という想いを込めて作成した調布市のキャッチフレーズ
エ 調布市手話言語条例	2.1%	8.4%	82.3%	7.3%	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	1.3%	7.7%	83.6%	7.4%	障害の特性に応じた多様な意思疎通（コミュニケーション）のための手段、配慮、支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例

16



「調布市手話言語条例」

「調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例」についてはこちら⇒



「バラハートちょうふ」についてはこちら⇒



コラム ■ 東京 2025 デフリンピックが調布にやってくる！
デフリンピックとは、デフ・オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。

デフリンピックは国際的な「聞こえない人のためのオリンピック」で、11月15日から26日まで、日本で初めて開催されます。調布では国王アリーナ TOKYO でバドミントン競技が実施されます。予約不要、入場無料で観戦できます。



▶デフリンピックについて詳しくはこちら

問37 調布市の高齢者保健福祉施策（サービス）をより充実していくために、特に重要と考える取組は何か。5つまで○

1 趣味や生きがいづくり・社会参加への支援	33.5%
2 働く機会や場所づくり	18.8%
3 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援	42.0%
4 自立生活のための家事（炊事・洗濯・掃除など）についての指導	8.8%
5 介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイなど）	44.5%
6 介護保険以外の保健福祉サービスの充実（配食サービス、紙おむつの給付など）	28.0%
7 ボランティアや地域活動の充実	10.0%
8 ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援	41.2%
9 低所得者などへの経済的支援	22.7%
10 既存住宅の改修支援	14.4%
11 安価な賃貸住宅の供給	17.1%
12 税差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備	25.0%
13 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	38.9%
14 利用しやすい成年後見制度	7.9%
15 介護者に対する支援	29.1%
16 その他（具体的に： ）	1.3%
17 わからない	3.8%
無回答	7.3%

問38 介護者支援策として、おなまが必要だと思うことは次のどれですか。（いづれでも○）

1 介護者に対する定期的な情報提供	47.2%
2 介護者が気軽に休息をとれる機会づくり	49.0%
3 電話や訪問による相談サービス	38.7%
4 本人や介護者が集まって話せる場づくり	30.0%
5 仕事と介護の両立支援	37.4%
6 介護者の経験をいかした発言の場づくり	17.5%
7 その他（具体的に： ）	1.1%
8 特になし	11.8%
無回答	6.8%

問39 市民同士が互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、以下の①～③の取組が重要です。これらの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。（自由記述）

取組番号

- ①地域活動の活性化・市民同士の支え合いの仕組みづくり
- ②相談・サービスの充実
- ③安全・安心の確保等

取組番号： ① ・ ② ・ ③ （いずれか○。複数選択可）
ご意見・ご提案
3つの取組以外で気になっていること

アンケートは以上です。たくさんの方の質問にお答えいただき、誠にありがとうございます。
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます（令和8年4月頃の予定）。

3 障害者（18歳以上・身体障害）

調布市長福祉ニーズ調査【障害者アンケート（18歳以上）】

障害のある人が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート ～ご協力のお願い～

市民の皆さまには、日頃から調布市の福祉行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを確実に進めることに市民の皆さまの意見をいかにため、障害者手帳や特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちの方の中から2,700人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年10月 調布市長 長友 貴樹

皆さまの回答は、障害のある人が暮らしやすい、見え合うまちづくりに役立っています。調布市の福祉は市長が主役です。例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、見え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまが一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。

i 回答者は、封筒のあて名が本人です。（問40～42のみ、ご家族が回答してください）ただし、ご本人が回答することが難しい場合、ご家族や代理の人がご本人の意思を聞いて記入しても差し支えありません。

パラハートちゅうふ
つなげよう、つながるまち

※調査票の各ページには、「音声コード(Uni-Voice)」を付しています。「音声コード」とは、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォンアプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。

調布市長福祉ニーズ調査【障害者アンケート（18歳以上）】

～記入について～

【回答期限】令和7年11月4日（火）【回答所要時間】30分から1時間程度（目安）

【回答方法】郵送 または インターネット

※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください

《郵送》調査票による回答の方法

- ①回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、（ ）に具体的な内容を記入してください。
- ②質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ③回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の問に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。
- ④回答終了後、回答の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL、または二次元コードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答の途中で保存することができます。

＜専用ウェブサイトのURL＞

<https://smilesurvey.co/s/b0771adb/o>



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課
電話 042-481-7135・7094（直通）
Fax 042-481-4283
E-mail syougai@city.chofu.lg.jp



問1 この調査に回答していただく人を教えてください。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 本人	77.7%	73.2%	3 その他	0.4%
2 家族などが代筆	16.8%	18.4%	無回答	5.0%
				8.4%

1 あなた(ご本人)についておたずねします

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 男性	54.6%	54.2%	3 その他	0.8%
2 女性	41.6%	43.2%	無回答	2.9%
				2.6%

問3 年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年10月1日現在)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 10歳代	1.3%	—	5 50歳代	28.6%
2 20歳代	7.6%	—	6 60歳代	26.1%
3 30歳代	6.3%	—	7 70歳代	—
4 40歳代	14.7%	—	8 80歳以上	—
			無回答	15.5%
				3.2%

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
緑ヶ丘・堀五小学校地域	11.8%	11.1%	第二八雲台・国領小学校地域	10.1%
若葉・調和小学校地域	12.2%	12.1%	染地・杉森・布田小学校地域	12.2%
上ノ原・相野小学校地域	8.8%	7.9%	第一富士台・多摩川八学校地域	18.5%
北ノ台・深大寺小学校地域	7.6%	10.5%	第三・石原・井田小学校地域	15.5%
			無回答	3.4%
				3.7%

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 持ち家	55.9%	65.3%	3 グループホーム	0.8%
2 賃貸住宅 (民間アパート、都営住宅などを含む)	38.2%	26.8%	4 その他 (具体的に：)	2.1%
			無回答	2.9%
				2.6%

問6 同居している家族を教えてください。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 ひとり暮らし(グループホームなどを含む)	—	—	19.7%	22.1%
2 配偶者(夫または妻)	—	—	43.3%	55.3%
3 父親	—	—	13.4%	0.5%
4 母親	—	—	25.9%	0.0%
5 子ども(子どもの配偶者を含む)	—	—	23.5%	34.7%
6 孫(孫の配偶者を含む)	—	—	0.8%	3.7%
7 兄弟姉妹	—	—	9.7%	1.6%
8 祖父母	—	—	1.3%	0.0%
9 その他(具体的に：)	—	—	2.9%	2.1%
無回答	—	—	2.1%	3.2%

問7 おもちゃの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 身体障害者手帳	—	—	92.9%	94.2%
2 養の手帳	—	—	10.1%	0.5%
3 精神障害者保健福祉手帳	—	—	6.3%	1.6%
4 特定医療費(指定難病)受給者証・マルポ医療券	—	—	11.8%	6.3%
5 もっていない	—	—	1.3%	0.5%
無回答	—	—	4.2%	4.7%

身体障害者手帳

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1級	38.0%	31.8%	4級	17.2%
2級	21.7%	13.4%	5級	4.1%
3級	12.7%	12.8%	6級	5.0%
			無回答	1.4%
				3.9%

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1度	25.0%	0.0%	3度	16.7%
2度	12.5%	100.0%	4度	41.7%
			無回答	4.2%
				0.0%

精神障害者保健福祉手帳

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1級	13.3%	0.0%	3級	40.0%
2級	40.0%	66.7%	無回答	6.7%
				0.0%

問8 どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○)
※特定医療費(指定難病)受給者証を
もつ人は、「11 その他(具体的に)」

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 目が不自由(視覚障害)	7.6%	8.4%
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)	12.2%	16.3%
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)	10.5%	3.7%
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・脳幹機能障害・運動機能障害)	45.8%	34.2%
5 心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸などの障害(内臓障害)	38.7%	46.3%
6 免疫機能障害	1.7%	1.1%
7 知的障害	9.2%	0.0%
8 精神疾患、精神障害(発達障害を除く)	7.6%	1.6%
9 発達障害(自閉スペクトラム症、学習症(AD)、注意欠如・多動症(ADHD)など)	2.1%	0.0%
10 高次脳機能障害	6.3%	2.1%
11 その他(具体的に：)	7.1%	6.3%
無回答	2.5%	3.7%

2 相談支援についておたずねします

問9 悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 家族・親族(一緒に生んでいて、離れて住んでいる)	65.5%	70.5%
2 友人・知人	25.6%	20.0%
3 相談支援機関の職員(ちやうど、ドルチェ、希望ヶ丘、こころの健康支援センター、サービス等利用計画の作成やモニタリングを行う相談支援専門員)	13.0%	5.8%
4 障害者施設(作業所、グループホームなど)の職員、ヘルパー	5.9%	4.2%
5 介護保険のケアマネジャー	11.3%	21.6%
6 市役所の職員	13.9%	8.9%
7 民生委員・児童委員	0.4%	1.6%
8 医療機関(医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護の職員)	23.4%	26.8%
9 その他(具体的に：)	2.5%	3.7%
10 相談する人はいない	5.9%	3.7%
11 相談の必要はない	4.2%	6.8%
無回答	2.5%	3.7%

問10 あなたは、医療機関(歯科を含む)の受診を受けることはありますか。(いくつでも○)
身体(64歳以下)(N=238) 身体(65歳以上)(N=190)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない	8.4%	6.8%
2 かかりつけ医療科(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない	8.4%	2.6%
3 定期的な健康診断を受けられない	3.8%	2.6%
4 定期的な歯科健診を受けられない	2.9%	2.6%
5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	5.5%	2.1%
6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある	4.6%	0.5%
7 通院するときに介助してくれる人がいない	2.9%	5.8%
8 医療費や交通費の負担が大きい	19.7%	11.6%
9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい	7.6%	4.2%
10 その他(具体的に：)	8.0%	4.7%
11 特になし	47.1%	62.6%
無回答	9.7%	8.9%

調布市民福祉ニーズ調査【読書者アンケート(18歳以上)】

問11 今後、どのように生活したいですか。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 親や兄弟などの家族と一緒に生活する	29.4%	21.6%
2 ひとり暮らし、または自分の配偶者と一軒に生活する	46.6%	50.0%
3 グループホームで生活する	3.8%	0.0%
4 入所施設で生活する	2.9%	6.3%
5 その他(具体的に:)	2.5%	3.7%
6 わからない	11.3%	12.6%
無回答	3.4%	5.8%

3 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問12 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
ア 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	27.7%	4.6%
イ 自分は取り残されていると感じることがある	34.5%	5.0%
ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	34.5%	5.5%
エ 自分は孤独であると感じることがある	33.6%	5.0%

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
ア 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	21.6%	11.6%
イ 自分は取り残されていると感じることがある	22.1%	13.2%
ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	22.6%	12.6%
エ 自分は孤独であると感じることがある	22.6%	13.7%

調布市民福祉ニーズ調査【読書者アンケート(18歳以上)】

問13 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についておたずねします。
あなたと同じ居していない家族や友人たちのコミュニケーション頻度について、お答えください。
(それぞれ1つに○)

	週 4 回 以上	週 2 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月 3 回 程度	月 1 回 程度	月 3 回 未満	全 く 不 明 確
身体(64歳以下)(N=238)								
ア 直接会って話す(手話等を含む)	25.6%	8.4%	8.4%	4.6%	14.3%	17.6%	11.3%	9.7%
イ 電話(ビデオ通話含む)	11.8%	7.6%	10.1%	5.9%	13.4%	17.6%	21.0%	12.6%
ウ SNS(※)や電子メールなど	25.2%	8.8%	11.8%	4.6%	8.8%	9.2%	19.7%	11.8%

	週 4 回 以上	週 2 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月 3 回 程度	月 1 回 程度	月 3 回 未満	全 く 不 明 確
身体(65歳以上)(N=190)								
ア 直接会って話す(手話等を含む)	17.9%	10.0%	14.2%	8.4%	11.6%	11.1%	15.8%	
イ 電話(ビデオ通話含む)	10.0%	10.0%	13.2%	10.0%	8.9%	8.9%	23.2%	
ウ SNS(※)や電子メールなど	10.5%	9.5%	9.5%	4.7%	5.8%	2.6%	28.9%	

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、登録された利用者が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例: ライン・エックス(旧ツイッター)・フェイスブックなど)。

4 災害時の対策についておたずねします

問14 防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。
(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 確認している	52.1%	60.5%	2 確認していない	31.1%
			無回答	8.4%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問15 災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)
身体(64歳以下)(N=238) 身体(65歳以上)(N=190)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 防災行政無線	9.7%	15.8%
2 調布市防災・安全情報メール	23.1%	21.6%
3 調布FM	1.7%	4.7%
4 市ホームページ	11.3%	7.9%
5 ケーブルテレビ	5.5%	5.3%
6 SNS(市の公式アカウントを含む)	18.9%	5.8%
7 その他(具体的に:)	6.3%	6.8%
8 わからない	19.7%	22.6%
無回答	3.8%	9.5%

5 暮らしについておたずねします

問16 現在、給料や工資を伴う仕事をしていますか。(1つに○)
身体(64歳以下)(N=238) 身体(65歳以上)(N=190)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 正職の社員・職員・役員	23.9%	1.6%
2 非正職の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	17.6%	6.3%
3 自由業・自営業(家族手伝いを含む)	4.6%	2.1%
4 障害者施設(作業所など)	6.3%	2.1%
5 仕事をしていないが、現在は仕事をしたい	34.0%	67.9%
6 これまで仕事をしたことがない(学生を含む)	8.0%	10.0%
無回答	5.5%	10.0%

問17 職場や学校の人に、あなたの障害や病気のことを伝えていただきますか。(1つに○)
身体(64歳以下)(N=238) 身体(65歳以上)(N=190)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 伝えている	69.7%	38.9%
2 伝えていない	12.2%	21.6%
無回答	18.1%	39.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問18 あなたは、どのような形で働きたい(願)たいですか。(1つに○)
身体(64歳以下)(N=238) 身体(65歳以上)(N=190)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 正職の社員・職員・役員	31.9%	2.6%
2 非正職の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	17.2%	8.9%
3 自由業・自営業(家族手伝いを含む)	8.4%	4.2%
4 障害者施設(作業所など)	5.5%	1.1%
5 働きたいと思わない	8.4%	30.5%
6 働くことができない	18.5%	35.8%
無回答	10.1%	16.8%

問19 あなたが仕事をするために、必要なことはありますか。(いくつでも○)
身体(64歳以下)(N=238) 身体(65歳以上)(N=190)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 技術、知識、資格などの習得	21.8%	3.7%
2 病後や障害に応じた柔軟な勤務日・勤務時間の設定	37.4%	8.4%
3 病後や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)	35.6%	9.5%
4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー	13.9%	1.1%
5 雇用する会社の相談体制や上司・同僚の病後や障害への理解、協力	30.7%	6.3%
6 通勤や勤務中の介助や支援	12.6%	4.2%
7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどを相談できる窓口	10.9%	4.2%
8 職場実習など、就職前に試みに働く機会の拡大	7.1%	1.1%
9 その他(具体的に:)	3.4%	5.3%
10 特に必要ない	23.5%	48.9%
無回答	13.0%	28.9%

問20 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

	十分に ある	十分 ではない が ある	機会 はない	必要 でない	無 回 答
身体(64歳以下)(N=238)					
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	46.6%	27.7%	8.0%	9.7%	8.0%
イ 友人・知人との交流	36.1%	26.9%	19.3%	9.2%	8.4%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	19.3%	30.7%	23.5%	19.3%	7.1%

調布市民福祉ニーズ調査【読書者アンケート(18歳以上)】

エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	24.4%	21.4%	29.0%	16.8%	8.4%
オ ウ、ニ以外の趣味や習いごと	23.1%	17.6%	29.4%	18.1%	11.8%

	10代 10代 10代	10代 10代 10代	10代 10代 10代	10代 10代 10代	10代 10代 10代
身体(65歳以上)(N=190)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)
ア 好きなどころへ出かけ(ヘルパー利用も含む)	44.2%	21.1%	7.4%	13.7%	13.7%
イ 友人・知人との交流	34.7%	30.0%	11.6%	12.5%	11.1%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	29.5%	21.1%	8.9%	25.8%	14.7%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	17.9%	21.6%	21.1%	22.6%	16.8%
オ ウ、ニ以外の趣味や習いごと	20.0%	14.2%	18.4%	29.5%	17.9%

※1 この「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動を含みます。これ以降の質問についても同じです。

※2 この「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術鑑賞・博物館などに行くこと、歌を聴いたり、演奏したりすることを含みます。

問21 スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 週に2回以上	23.1%	31.6%	3 月に1、2回程度	9.7%
2 週に1回程度	13.0%	14.7%	4 ほとんどしない	49.2%
			無回答	5.0%
				6.8%

調布市民福祉ニーズ調査【読書者アンケート(18歳以上)】

問22 スポーツ・運動をどこでしたいですか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 地域の体育館	13.1%	6.8%
2 民間のスポーツクラブ	13.4%	13.7%
3 通所先の施設(作業所など)	7.1%	8.9%
4 地域の公園や広場	22.3%	13.7%
5 自宅	34.9%	28.4%
6 その他(具体的に：)	6.7%	8.9%
7 しなし、できない	25.2%	30.5%
無回答	6.7%	11.6%

問23 スポーツ・運動をするために必要な支援は何ですか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 活動できる場所	30.7%	19.5%
2 指導者	16.4%	13.7%
3 障害に応じた器具・用具	13.1%	8.4%
4 障害に応じたプログラムの充実や情報提供	22.7%	16.3%
5 活動場所までの移動手段	17.2%	14.7%
6 活動を介助・サポートしてくれる支援者	14.7%	12.6%
7 一緒に活動する仲間	21.0%	15.8%
8 その他(具体的に：)	4.6%	6.8%
9 スポーツ・運動はしない、できない	24.8%	26.8%
無回答	10.9%	18.9%

問24 あなたは普段、どのくらい外出しますか、現在のことにについてお答えください。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 仕事や学校等で平日は毎日外出する	37.0%	3.2%
2 仕事や学校等で週に3～4日外出する	18.1%	9.5%
3 遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する	3.4%	18.9%
4 入つぎあいのためにときどき外出する	5.9%	12.6%
5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	11.8%	18.4%
6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	10.9%	15.8%
7 自宅からは出るが、家からは出ない	5.9%	10.0%
8 自宅からほとんど出ない	3.4%	3.2%
無回答	3.8%	8.4%

付簡1 問24で「5～8」のいずれかに答えた方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態となつて、どのくらい続きますか。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 3か月未満	15.8%	
2 3か月～6か月未満	2.6%	
3 6か月～1年未満	6.6%	
4 1年～5年未満	13.3%	
5 5年～10年未満	0.0%	
6 10年以上	6.7%	
無回答		

付簡2 付簡1で「3～6」のいずれかに答えた方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態となった主な理由は何か。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 病気	70.7%	56.5%
2 介護・看護を担うことになったこと	3.4%	4.3%
3 (就労中)自宅の仕事をしている	3.4%	2.9%
4 学校になじめなかったこと	1.7%	0.0%
5 職場になじめなかったこと	5.2%	0.0%
6 交際を断じたこと(高校・大学等)	0.0%	0.0%
7 就職活動がうまくいかなかったこと	0.0%	0.0%
8 人間関係がうまくいかなかったこと	1.7%	0.0%
9 退職したこと	10.3%	17.4%
10 その他(真体時に：)	15.5%	27.5%
11 時に理由はない	1.7%	14.5%
12 わからない	3.4%	1.4%
無回答	1.7%	2.9%

問25 あなたは、市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいいますか。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	17.6%	22.6%
2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	8.8%	12.6%
3 自宅からは出るが、家からは出ない	2.5%	3.7%
4 自宅からほとんど出ない	0.8%	1.6%
5 いずれもない	43.7%	31.6%
6 外出状況がわからない	8.0%	6.3%
無回答	13.4%	21.6%

付前1 問25で「1～4」のいずれかに答えた方にかかれます。

ご家族の外出状況が現在の状態となつて、どのくらい続きますか。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 3か月未満	29.6%	16.9%	4 1年～5年未満	21.1%
2 3か月～6か月未満	2.8%	3.9%	5 5年～10年未満	11.7%
3 6か月～1年未満	2.8%	3.9%	6 10年以上	28.6%
			無回答	13.0%

付前2 付前1で「3～6」のいずれかに答えた方にかかれます。

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 病気	30.4%	33.3%
2 介護・看護を担うことになったこと	10.9%	9.8%
3 (就労中)自宅で仕事をしている	4.3%	0.0%
4 学校になじめなかったこと	2.2%	0.0%
5 職場になじめなかったこと	4.3%	0.0%
6 変換に失敗したこと(高校・大学等)	0.0%	2.0%
7 就労活動がうまくいかなかったこと	0.0%	2.0%
8 人間関係がうまくいかなかったこと	2.2%	3.9%
9 退職したこと	10.9%	25.5%
10 その他(具体的に:)	15.2%	9.8%
11 特に理由はない	13.0%	17.6%
12 わからない	4.3%	5.9%
無回答	13.0%	11.8%

6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問26 調布のまちは、障害(身体障害、知的障害、精神障害、難病など)のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますが、(1つに○)
身体(64歳以下)(N=238) 身体(65歳以上)(N=190)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 住みやすいと思う	23.1%	26.8%
2 どちらかといえば、住みやすいと思う	53.4%	53.7%
3 どちらかといえば、住みやすいと思わない	9.7%	9.5%
4 住みやすいと思わない	2.9%	2.6%
無回答	5.9%	7.4%

問27 共生社会の実現のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	聞いたことはある(内容は知らない)	知らない	無回答	説明
身体(64歳以下) (N=238)					
ア 障害者差別解消法	12.6%	27.7%	55.0%	4.6%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	14.7%	22.3%	58.4%	4.6%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くための何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
ウ パラハートちょうふ	5.0%	30.3%	60.1%	4.6%	「様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という想いを込めて作成した調布市のキャッチフレーズ
エ 調布市言語コミュニケーション条例	3.8%	11.3%	79.4%	5.5%	独自の言語である手語に対する理解促進と普及を推進するための条例
オ 調布市障害者の多様な意思疎通に關する条例	3.4%	10.9%	80.7%	5.0%	障害の特性に応じた多様な意思疎通(コミュニケーション)のための手段、配慮、支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例

身体(65歳以上) (N=190)	内容を知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別解消法	8.9%	17.9%	61.1%	12.1%	障害者権利法とする差別の解消を推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	9.5%	14.7%	62.6%	13.2%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くための何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
ウ バラハートちょうふ	8.9%	25.3%	54.7%	11.1%	「様々な障害に対する理解を深め、人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という想いを込めて作成した調布市のキャラクターズ
エ 調布市手話言語条例	5.3%	14.2%	68.4%	12.1%	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	6.3%	15.8%	68.9%	8.9%	障害の特性に応じた多様な意思疎通(コミュニケーション)のための手段、記号、支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例

「調布市手話言語条例」

「調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例」についてはこちら⇒

「バラハートちょうふ」についてはこちら⇒



i コラム ■ 東京 2025 デフリンピックが調布にやってくる！

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「音が聞こえない」という意味です。

デフリンピックは国際的な「聞こえない人」のためのオリンピックで、11月15日から26日まで、日本でも初めて開催されます。調布市では東京アリーナ TOKYO でイベント・競技が実施されます。予約不要、入場無料で開催されます。

▶デフリンピックについて詳しくはこちら

問28 外出時に使用している主な移動手段は何か、(2つまで○)	身体(64歳以下)(N=238)		身体(65歳以上)(N=190)	
	身体(64歳以下)		身体(65歳以上)	
1 自家用車(自走運転する)	19.7%		12.1%	
2 自家用車(運転手が別にいる)	13.0%		14.7%	
3 電車	47.9%		33.7%	
4 バス	27.3%		36.8%	
5 タクシー	13.9%		17.9%	
6 徒歩・自転車・車いす	51.3%		44.2%	
7 その他(具体的に:)	4.6%		5.3%	
8 該当なし	0.8%		2.1%	
無回答	2.9%		4.7%	

問29 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザイン(※)について、どのように感じていますか。
(それぞれ1つに○)

身体(64歳以下)(N=238)	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	2.1%	28.2%	29.8%	13.9%	19.3%	6.7%
イ 公営施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	6.7%	42.4%	22.3%	7.6%	13.9%	7.1%
ウ 車いすの人や乳幼児を運んだ人、作業者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ	2.5%	35.3%	24.4%	13.4%	16.8%	7.5%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)を取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や通路	1.7%	14.3%	36.1%	29.4%	12.2%	6.3%
オ 点字プロックや視覚障害者の信号機	2.5%	24.4%	25.6%	10.5%	29.4%	7.5%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすいバスデッドスペースやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシー	2.1%	26.1%	26.1%	12.6%	26.1%	7.1%
キ 車いす利用者等用の駐車場	1.3%	18.5%	24.8%	9.7%	38.2%	7.5%

調布市長福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

ク	誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色、イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	3.8%	19.7%	21.8%	11.3%	35.7%	7.6%
ケ	手話の対応や音声ガイドがある施設	1.3%	8.0%	16.0%	13.4%	53.8%	7.6%
コ	補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.4%	6.7%	14.7%	15.1%	55.5%	7.6%
ナ	公園・道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン	2.1%	14.3%	25.2%	12.2%	38.2%	8.0%
シ	高齢者・子ども連れの家族、障害や病氣などがある人に対する人々の接し方や配慮	2.1%	18.9%	25.6%	17.6%	27.7%	8.0%

	身体(65歳以上) (N=190)	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ア	車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	2.1%	17.9%	31.6%	8.4%	27.4%	12.6%
イ	公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	5.3%	45.8%	14.7%	3.7%	18.4%	12.1%
ウ	車いすの人や乳幼児を運んだ人、介助者の同伴が必要の人など、誰もが使いやすいトイレ	3.7%	28.4%	23.7%	5.8%	25.8%	12.6%
エ	歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)を取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	0.0%	16.3%	32.1%	24.2%	16.3%	11.1%
オ	点字ブロックや視覚障害者の信号機	1.6%	23.7%	21.1%	5.3%	35.3%	13.2%
カ	車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシー	2.1%	20.5%	25.3%	5.3%	33.7%	13.2%
キ	車いす使用者等用の駐車場	1.6%	12.6%	26.3%	4.7%	41.6%	13.2%
ク	誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	1.6%	13.7%	25.3%	6.3%	40.5%	12.6%
ケ	手話の対応や音声ガイドがある施設	1.1%	6.3%	17.9%	4.2%	57.4%	13.2%

調布市長福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

コ	補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.0%	3.7%	20.0%	5.3%	56.3%	13.2%
サ	公園・道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン	0.5%	13.7%	24.7%	7.9%	41.6%	11.6%
シ	高齢者・子ども連れの家族、障害や病氣などがある人に対する人々の接し方や配慮	1.6%	25.8%	28.4%	5.3%	28.3%	10.0%

※ ユニバーサルデザインとは、障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず、多様な人が利用しやすいよう、事前に環境などをデザインすること。

問30 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病室・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)のために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

身体(64歳以下)(N=238)		身体(65歳以上)(N=190)	
	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	
1	学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実	44.1%	35.3%
2	意識啓発のための研修・講演会の開催	7.6%	13.2%
3	障害者や外国人など、さまざまな住民が交流する機会を増やす	29.4%	15.8%
4	わかりやすい情報発信	47.9%	45.3%
5	その他(具体的に:)	1.7%	1.6%
6	わからない	13.9%	17.4%
	無回答	8.4%	11.6%

問31 普段の暮らしや外・日とのとき、障害や病氣への差別や偏見、配慮のなさを感ずる場面はありますか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 教育の機会	8.8%	2.1%
2 仕事や取入	23.5%	4.2%
3 近所付き合いや地域の行事・活動	6.3%	5.3%
4 店での扱いや店員の対応・態度	14.3%	6.8%
5 まちなかでの人の視線	19.7%	10.5%
6 交通機関や建物のつくりの配慮	35.7%	16.8%
7 行政職員の応対・態度	9.7%	3.2%
8 その他(具体的に:)	4.6%	3.7%
9 特に感じない	31.9%	53.2%
無回答	7.6%	13.7%

問32 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード(※)、ヘルプマーク(※)をもっていますか、(それぞれ1つに○)

	身体(64歳以下)(N=238)	
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	16.8%
	2 もっているが、もち歩いていない	26.1%
	3 もっていないが、ほしいと思う	18.1%
	4 もっていないし、必要ない 無回答	34.9%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	4.2%
	2 もっているが、もち歩いていない	28.2%
	3 もっていないが、ほしいと思う	14.7%
	4 もっていないし、必要ない 無回答	20.6%
		31.1%
		5.5%

	身体(65歳以上)(N=190)	
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	21.1%
	2 もっているが、もち歩いていない	14.7%
	3 もっていないが、ほしいと思う	15.8%
	4 もっていないし、必要ない 無回答	31.6%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	16.8%
	2 もっているが、もち歩いていない	21.6%
	3 もっていないが、ほしいと思う	15.8%
	4 もっていないし、必要ない 無回答	17.4%
		29.5%
		15.8%

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、連絡情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすいものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある人に限らず、外資からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。

あなたの支障が必要です。

ヘルプカード

調布市

+

♡

ヘルプカード

ヘルプマーク

問33 ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けしてもらったりすることがありますか。(1つに○)

		身体(64歳以下)(N=238)		身体(65歳以上)(N=190)		
		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	
1	ある	24.4%	16.8%	3 もっていない、 わからない	43.7%	38.9%
2	ない	25.2%	23.3%	無回答	6.7%	17.9%

7 デジタルの活用についておたずねします

問34 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか、(いくつでも○)

	身体(64歳以下)(N=238)	身体(65歳以上)(N=190)	
	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(65歳以上)
1 市のホームページ		29.8%	17.4%
2 市の広報紙・チラシ		45.4%	47.4%
3 市役所・相談機関などの窓口		16.8%	12.6%
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ		2.9%	6.3%
5 家族、友人・知人からの口コミ		13.4%	12.6%
6 SNS		9.2%	3.2%
7 その他(具体的に：)		4.2%	3.2%
8 知らない、情報は入手していない		21.0%	24.7%
無回答		3.8%	9.5%

問35 普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 使っている	80.3%	45.3%	2 使っていない	16.0%
			無回答	3.8%
				8.4%

問36 あなたがスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使ってしたいこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問37 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

身体(64歳以下)(N=238)	知っている	知らない	無回答	説明
ア トリヂェ (相談支援・地域活動支援センター)	28.2%	67.2%	4.6%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちようふだぞう (相談支援・地域活動支援センター)	30.7%	63.9%	5.5%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘 (相談支援・地域活動支援センター)	9.2%	84.9%	5.9%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター (相談支援・デイ事業等)	18.1%	76.5%	5.5%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	11.8%	82.8%	5.5%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	8.8%	86.1%	5.0%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会)	21.8%	71.8%	6.3%	地域福祉コーディネーターは、支援者支援を主な役割として、市内8つの福祉団体に名づつ配置されており、生活上の悩みや困りごとを抱える方、制度の申請で苦しんでいる方に対し、様々な機関や団体と連携しながら、課題の解決を図ります。
ク 成年後見制度	39.5%	53.8%	5.7%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていただくことによって、法的に保護する制度です。 市は、権利擁護支援の窓口である「利用者サポート相談」に専門の相談員を配置し、権利擁護支援を必要とする方に対し、相談支援等を行っています。(福祉総務課)

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

身体(65歳以上)(N=190)	知っている	知らない	無回答	説明
ア トリヂェ (相談支援・地域活動支援センター)	23.2%	55.3%	11.5%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちようふだぞう (相談支援・地域活動支援センター)	21.6%	55.3%	3.2%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘 (相談支援・地域活動支援センター)	8.4%	76.8%	14.7%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター (相談支援・デイ事業等)	15.8%	70.0%	14.2%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	11.6%	74.2%	14.2%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	12.1%	73.7%	14.2%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会)	32.6%	52.6%	14.7%	地域福祉コーディネーターは、支援者支援を主な役割として、市内8つの福祉団体に名づつ配置されており、生活上の悩みや困りごとを抱える方、制度の申請で苦しんでいる方に対し、様々な機関や団体と連携しながら、課題の解決を図ります。
ク 成年後見制度	40.0%	44.2%	15.8%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていただくことによって、法的に保護する制度です。 市は、権利擁護支援の窓口である「利用者サポート相談」に専門の相談員を配置し、権利擁護支援を必要とする方に対し、相談支援等を行っています。(福祉総務課)

問38 調布市の障害者福祉施設(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口	58.8%	55.3%
2 相談づくりや地域での居場所サービス	18.1%	16.3%
3 手当や医療費の助成などの経済的な支援	53.4%	42.6%
4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援	13.9%	5.3%
5 ホームヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援	26.5%	30.0%
6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援	14.7%	7.9%
7 介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	24.4%	23.2%
8 日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備	14.3%	6.3%
9 企業などで働くための支援(就労支援)	23.5%	5.3%
10 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	18.5%	10.5%
11 グループホームなど、地域における住まいの場の整備	15.1%	12.1%
12 障害理解の促進や差別の解消	22.7%	5.3%
13 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	34.9%	26.8%
14 障害に応じた多様な情報提供の充実	26.1%	21.6%
15 災害時の支援体制の整備	33.6%	28.4%
16 デジタル技術を活用した、情報提供や意識啓発支援	21.8%	5.8%
17 その他(具体的に：)	3.8%	1.6%
無回答	9.2%	17.4%

問39 市民同士が互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、以下の①～⑤の取組が重要です。これらの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

取組番号
①地域活動の活性化・市民同士の支え合いの仕組みづくり
②相談・サービスの充実
③安全・安心の確保等

取組番号：①・②・③(いずれかに○。複数選択可)

ご意見・ご提案

3つの取組以外で気になっていること

9 ご家族におたずねします
(ひとり暮らし、グループホームなどの人は回答不要です)

問40 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

主に介護や支援をしている人の年齢を教えてください。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 10歳代	0.6%	0.0%	6 30歳代	20.6%
2 20歳代	1.1%	0.7%	7 70歳代	8.9%
3 30歳代	4.4%	0.7%	8 80歳以上	15.1%
4 40歳代	6.1%	2.2%	9 いなし	8.6%
5 50歳代	21.1%	9.4%	無回答	25.2%

問41 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。
介護や支援にあたっている人の年齢を教えてください。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 障害や病気のことがよくわからない	2.2%	5.0%
2 適切な介護・支援の方法がわからない	10.6%	8.6%
3 自分の時間をもてない(余暇・外出・休養など)	21.7%	10.1%
4 自分の希望する仕事につくことが難しい	7.8%	3.6%
5 自分の学校・学習がおろそかになる	0.6%	0.0%
6 介護・支援をする家族自身の高齢化	24.4%	33.8%
7 介護・支援をする家族自身も障害や病気がある	13.3%	13.7%
8 本人のほかにも介護・支援が必要な家族がいる	8.9%	7.9%
9 何かあったときに本人の介護・支援を頼める人(場所)がない	20.6%	17.3%
10 相談できる場所がない	10.6%	5.0%
11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない	7.8%	2.9%
12 経済的な負担が大きい	13.9%	11.5%
13 その他(具体的に：)	2.2%	0.0%
14 特になし	17.2%	15.8%
15 いらないのでわからない	3.3%	3.6%
無回答	27.2%	30.2%

調布市民福祉センター設置【障害者アンケート(18歳以上)】

問42 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。 介助する人への支援として方を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)		
	身体(64歳以下)(n=180)	身体(65歳以上)(n=139)
1 介助者同士が交流したり、話し合える場を作ってくれること	4.4%	3.6%
2 本人の介助や支援から離れる時間を作ってくれること	16.7%	13.7%
3 家事や育児を手伝ってくれること	10.0%	6.5%
4 介助や支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及	14.4%	6.5%
5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	32.8%	30.9%
6 その他(具体的に：)	5.6%	2.9%
7 わからない	17.8%	15.1%
無回答	28.9%	38.8%

アンケートは以上です。たくさんの方の間にお答えいただき、誠にありがとうございました。
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和8年4月頃の予定)。

4 障害者（18歳以上・知的障害-精神障害-難病）

調布市民福祉センター企画【障害者アンケート（18歳以上）】

障害のある人が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願いします～

市民の皆さまには、百歳から調布市の福祉行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを確実に進めることに市民の皆さまの意見をいかに活かすため、障害者手帳や特定医療費（指定難病）受給者証をおもちの方の方から、2,700人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を願います。申しあげます。

令和7年10月 調布市長 長友 貴樹

皆さまの回答は、障害のある人が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。調布市の福祉は市長が主役です。例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。

i

回答者は、封筒のあて名ご本人です。（問40～42のみ、ご家族が回答してください）
ただし、ご本人が回答することが難しい場合、ご家族や代理の人がご本人の意思を聞いて記入しても差し支えありません。

ハローハートちようふ

※調査票の各ページには、「音声コード(Uni-Voice)」を付しています。「音声コード」とは、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォンアプリが音聲に変換し、文章内容を読み上げるものです。

調布市民福祉センター企画【障害者アンケート（18歳以上）】

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和7年11月4日(火) 【回答所要時間】 30分から1時間程度(目安)

【回答方法】 郵送 または インターネット

（※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください）

《郵送》 調査票による回答の方法

① 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、（ ）に具体的な内容を記入してください。

② 質問によっては、回答数や回答者が偏られる場合があります。

③ 回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の問に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。

④ 回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》 回答の方法

① 以下のURL、または三次元コードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。

② 調査票と同じ質問が画面に表示されます。

③ 回答の途中で保存することができます。

＜専用ウェブサイトのURL＞

<https://smilesurvey.co/s/b0771adb/o>



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7094（直通）

Fax 042-481-4285

E-mail svougai@city.chofu.tg.jp

調布市民福祉ニーズ調査【調査者アンケート(18歳以上)】

問1 この調査に回答していただく人を教えてください。(1つに○)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1 本人	40.4%	84.9%	85.3%	3 その他	0.0%	0.6%
2 家族などが代筆	52.5%	11.2%	9.5%	無回答	7.1%	4.6%

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問2 性別を教えてください。(1つに○)

	知的 ちのう	精神 しんしん	難病 なんびょう	知的 ちのう	精神 しんしん	難病 なんびょう
1 男性 たにせい	59.2%	43.9%	44.5%	3 その他 そのが	1.0%	0.6%
2 女性 にょせい	35.8%	51.8%	52.6%	無回答 むこたわ	3.3%	2.3%

問3 年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年10月1日現在)

	知的(N=240)			精神(N=392)			難病(N=348)		
	知的	精神	難病	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1 10歳代	7.1%	1.8%	0.6%	5	50歳代	12.1%	26.0%	19.3%	
2 20歳代	37.5%	12.8%	2.9%	6	60歳代	2.1%	14.3%	21.6%	
3 30歳代	19.6%	17.9%	4.0%	7	70歳代	1.3%	5.4%	24.4%	
4 40歳代	14.6%	18.1%	11.8%	8	80歳以上	1.7%	1.0%	13.8%	
				無回答		4.2%	2.8%	1.7%	

問4 お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
蔵ヶ丘・浦坂小学校地域	7.5%	8.7%	11.8%	第二・八雲台・国領小学校地域	12.5%	15.8%	17.5%
若葉・調和小学校地域	8.8%	14.5%	12.4%	染地・杉森・布田小学校地域	15.8%	10.7%	12.4%
上ノ原・柏野小学校地域	9.6%	7.1%	8.3%	第一・富士見台・多摩川小学校地域	12.1%	13.0%	14.9%
北ノ台・深大寺小学校地域	11.7%	11.2%	7.5%	第三・石原・飛田給小学校地域	18.3%	15.8%	12.6%
				無回答	3.8%	3.1%	2.6%

調布市民福祉ニーズ調査【調査者アンケート(18歳以上)】

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

	知的 障害	精神 障害	難病	知的 障害	精神 障害	難病
1 持ち家	64.5%	36.5%	66.1%	3	グループ ホーム	1.3% 0.0% 0.3%
2 賃貸住宅 （民間アパート、都営住宅 などを含む）	30.8%	57.9%	28.4%	4 その他 （具体的に：）	1.7% 3.3% 3.4%	
				無回答	1.7% 2.3% 1.7%	

問6 同居している家族を教えてください。(いくつでも○)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1 ひとり暮らし(グループホームなどを含む)						
2 配偶者(夫または妻)						
3 父親						
4 母親						
5 子ども(子どもの配偶者を含む)						
6 孫(孫の配偶者を含む)						
7 兄弟姉妹						
8 祖父母						
9 その他(具体的に:)						
無回答						

問7 おもちゃの箱などその寄附を教えてください。(いくつでも○)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1 身体障害者手帳						
2 養の手帳						
3 精神障害者保健福祉手帳						
4 特定医療費(指定難病)受給者証・マル都医療券						
5 もっていない						
無回答						

問11 今後、どのように生活したいですか。(1つに○)

	知的(N=240)		精神(N=392)		難病(N=348)	
	ない	ほとんど ない	時々ある	常に ある	ない	ほとんど ない
1 親や兄弟などの家族と一緒に生活する	43.3%	25.8%	24.7%	7.9%	43.3%	25.8%
2 ひどい暮らし、または自分の配属者と一緒に生活する	17.9%	47.4%	52.6%	0.3%	17.9%	47.4%
3 グループホームで生活する	16.3%	4.1%	0.3%	5.2%	16.3%	4.1%
4 入所施設で生活する	3.8%	2.0%	3.3%	1.4%	3.8%	2.0%
5 その他(具体的に:)	2.9%	3.3%	1.4%	13.5%	2.9%	3.3%
6 わからない	13.8%	14.8%	13.5%	2.3%	13.8%	14.8%
無回答						

3 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問12 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○)

	ない	ほとんど ない	時々ある	常に ある	無回答
知的(N=240)					
ア 自分には人とのつきあいがいいと感じることがある	26.7%	22.9%	30.4%	13.3%	6.7%
イ 自分は取り残されていると感じることがある	33.3%	26.3%	22.9%	7.9%	9.6%
ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	37.1%	24.6%	20.0%	8.8%	9.6%
エ 自分は孤独であると感じることがある	36.7%	23.8%	22.1%	7.1%	10.4%

	ない	ほとんど ない	時々ある	常に ある	無回答
精神(N=392)					
ア 自分には人とのつきあいがいいと感じることがある	20.9%	18.6%	38.0%	18.4%	4.1%
イ 自分は取り残されていると感じることがある	18.6%	16.3%	37.8%	23.0%	4.3%
ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	16.6%	19.4%	34.7%	24.5%	4.8%
エ 自分は孤独であると感じることがある	18.4%	18.4%	36.5%	22.4%	4.3%

	ない	ほとんど ない	時々ある	常に ある	無回答
難病(N=348)					
ア 自分には人とのつきあいがいいと感じることがある	35.6%	25.6%	22.4%	12.4%	4.0%
イ 自分は取り残されていると感じることがある	43.1%	27.6%	18.7%	6.0%	4.6%
ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	43.4%	29.6%	18.4%	4.0%	4.6%
エ 自分は孤独であると感じることがある	43.4%	27.6%	20.1%	4.9%	4.0%

問13 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についておたずねします。

あなたと同じように家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、お答えください。
(それぞれ1つに○)

	週 4 回 以上	週 2 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月 1 回 程度 未満	全 く ない で き な い	無 回 答
知的(N=240)							
ア 直接会って話す(手話等を含む)	26.7%	7.1%	4.2%	6.7%	10.0%	15.8%	17.9%
イ 電話(ビデオ通話含む)	5.4%	4.6%	3.3%	3.3%	7.9%	14.2%	43.3%
ウ SNS(※)や電子メールなど	14.2%	5.8%	2.9%	1.3%	4.2%	7.1%	44.2%

	週 4 回 以上	週 2 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月 1 回 程度 未満	全 く ない で き な い	無 回 答
精神(N=392)							
ア 直接会って話す(手話等を含む)	15.1%	10.5%	9.9%	7.7%	13.0%	16.1%	19.9%
イ 電話(ビデオ通話含む)	12.5%	7.1%	8.2%	5.4%	11.0%	18.4%	28.6%
ウ SNS(※)や電子メールなど	24.0%	9.2%	9.7%	7.1%	10.7%	21.2%	11.0%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

調布市民福祉 ニーズ調査 (N=348)	週4～5回以上				2週間～1回程度		月1回程度		全くできない	
	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上	週4～5回以上
ア 直接会って話す(手話等を含む)	22.1%	9.5%	12.6%	10.6%	13.2%	16.7%	6.9%	8.3%		
イ 電話(ビデオ通話含む)	11.2%	8.9%	17.0%	9.2%	13.8%	19.5%	9.5%	10.9%		
ウ SNS(※)や電子メールなど	24.1%	16.1%	12.1%	7.8%	6.6%	9.5%	12.1%	11.3%		

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、登録された利用者が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例: ライン・エックス(旧ツイッター)・フェイスブックなど)。

4 災害時の対策についておたねします

問14 防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所、避難経路、警戒区域などを確認していますか。(1つに○)

1 確認している	知的	精神	難病	知的		精神		難病
				2 確認していない	無回答	2 確認していない	無回答	
	45.8%	45.9%	64.9%	52.9%	51.3%	31.3%	3.7%	

問15 災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

1 防災行政無線	知的	精神	難病	知的		精神		難病
				2 確認していない	無回答	2 確認していない	無回答	
	9.6%	9.7%	10.1%	21.7%	15.1%	26.4%	0.9%	
2 調布市防災・安全情報メール	0.8%	1.5%	0.9%	6.7%	9.7%	14.4%	4.9%	
3 調布FM	6.3%	11.3%	22.2%	4.6%	5.1%	3.4%	17.2%	
4 市ホームページ	11.3%	22.2%	19.0%	34.6%	28.8%	3.7%		
5 ケーブルテレビ	4.6%	5.1%	3.4%	4.6%	2.3%			
6 SNS(市の公式アカウントを含む)	34.6%	28.8%	3.7%	4.6%	2.3%			
7 その他(具体的に)	4.6%	5.1%	3.4%	4.6%	2.3%			
8 わからない	4.6%	5.1%	3.4%	4.6%	2.3%			
無回答	4.6%	5.1%	3.4%	4.6%	2.3%			

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

5 暮らしについておたねします

問16 現在、給料や工資を稼ぐ仕事をしていますか。(1つに○)

1 正規の社員・職員・役員	知的	精神	難病	知的		精神		難病
				2 伝えていない	無回答	2 伝えていない	無回答	
	10.4%	9.2%	23.9%	21.3%	20.4%	14.1%	7.5%	
2 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	0.8%	2.0%	1.1%	43.3%	17.6%	41.1%	44.5%	
3 自由業・自営業(家族を営む)	7.9%	41.1%	44.5%	9.2%	6.6%	5.2%	3.7%	
4 障害者施設(作業所など)	7.1%	3.1%	3.7%					
5 仕事をしていないが、現在は仕事をしていない								
6 これまで仕事をしたことがない(学生を含む)								
無回答								

問17 職場や学校の人に、あなたの障害や病気のことを伝えていますか。(1つに○)

1 伝えている	知的	精神	難病	知的		精神		難病
				2 伝えていない	無回答	2 伝えていない	無回答	
	78.3%	55.9%	52.9%	10.8%	30.9%	26.7%	20.4%	

問18 あなたは、どのような形で働きたい(続けたい)ですか。(1つに○)

1 正規の社員・職員・役員	知的	精神	難病	知的		精神		難病
				2 伝えていない	無回答	2 伝えていない	無回答	
	18.3%	25.0%	29.3%	19.2%	19.6%	17.2%	8.9%	
2 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	0.8%	3.7%	8.9%	40.4%	14.0%	1.1%	18.1%	
3 自由業・自営業(家族を営む)	1.7%	7.7%	18.1%	11.3%	21.2%	17.8%	7.5%	
4 障害者施設(作業所など)								
5 働きたいと思わない								
6 働くことができない								
無回答								

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問19 あなたが仕事をするために、必要なことはありますか。(いくつでも○)

	知的(N=240)	精神(N=392)	難病(N=348)
1 技術、知識、資格などの習得	17.5%	32.7%	21.8%
2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日、勤務時間の設定	30.0%	54.8%	25.9%
3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)	13.8%	38.3%	17.2%
4 雇用する会社の施設設備でのバリアフリー	5.8%	4.6%	2.9%
5 雇用する会社の相談体制や上司・同僚の病気や障害への理解、協力	35.0%	40.6%	14.4%
6 通勤や勤務中の介助や支援	16.7%	9.4%	2.9%
7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどを相談できる窓口	22.1%	24.7%	7.8%
8 職場実習など、就職前に試みに働く機会の拡大	11.7%	15.1%	3.7%
9 その他(具体的に：)	4.6%	7.4%	2.6%
10 特に必要ない	20.4%	16.1%	42.2%
無回答	16.3%	7.9%	14.1%

問20 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

	知的(N=240)	精神(N=392)	難病(N=348)
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	44.6%	29.2%	7.9%
イ 友人・知人との交流	21.7%	24.6%	22.1%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	21.7%	29.2%	23.8%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	17.9%	22.1%	30.8%
オ ウ、エ以外の趣味や習いごと	20.8%	10.0%	32.9%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

	精神(N=392)	精神(N=392)	精神(N=392)	精神(N=392)
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	45.7%	30.1%	9.9%	4.8%
イ 友人・知人との交流	28.3%	34.7%	21.9%	3.6%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	19.9%	28.1%	32.4%	4.8%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	25.3%	25.5%	29.1%	5.4%
オ ウ、エ以外の趣味や習いごと	25.3%	20.4%	30.1%	6.9%

	精神(N=348)	精神(N=348)	精神(N=348)	精神(N=348)
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	54.0%	25.0%	6.0%	5.5%
イ 友人・知人との交流	47.4%	30.2%	10.1%	4.6%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	31.0%	30.2%	19.0%	5.5%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	23.6%	32.8%	23.6%	5.2%
オ ウ、エ以外の趣味や習いごと	24.4%	27.9%	21.8%	6.6%

※1 ここでの「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含みます。これ以外の運動についても同じです。

※2 ここでの「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

問21 スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

	知的(N=240)	精神(N=392)	精神(N=348)
1 週に2回以上	18.3%	21.9%	25.0%
2 週に1回程度	14.5%	12.8%	14.4%
3 月に1、2回程度	3	3	3
4 ほとんどない	4	4	4
無回答	41.7%	50.3%	44.3%

問22 スポーツ・運動をどこでしたいですか。(いくつでも○)

	知的 (N=240)	精神 (N=392)	難病 (N=348)
1 地域の体育館	21.7%	18.6%	19.5%
2 民間のスポーツクラブ	14.6%	17.3%	22.7%
3 通所先の施設(作業所など)	28.7%	9.4%	2.9%
4 地域の公園や広場	15.0%	21.2%	23.0%
5 自宅	19.2%	39.0%	29.0%
6 その他(具体的に：)	7.1%	9.9%	7.8%
7 しない、できない	20.0%	22.7%	19.8%
無回答	11.3%	3.1%	6.3%

問23 スポーツ・運動をするために必要な支援は何ですか。(いくつでも○)

	知的 (N=240)	精神 (N=392)	難病 (N=348)
1 活動できる場所	38.8%	43.6%	38.8%
2 指導者	27.5%	19.9%	16.4%
3 障害に応じた器具・用具	12.1%	8.2%	6.6%
4 障害に応じたプログラムの充実や情報提供	30.0%	18.1%	14.9%
5 活動場所までの移動手段	20.8%	14.0%	9.8%
6 活動を介助・サポートしてくれる支援者	30.8%	12.2%	8.0%
7 一緒に活動する仲間	31.7%	29.3%	23.0%
8 その他(具体的に：)	3.3%	7.1%	6.6%
9 スポーツ・運動はしない、できない	18.3%	21.9%	19.3%
無回答	12.1%	7.1%	14.4%

問24 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことにしてお答えください。(1つに○)

	知的 (N=240)	精神 (N=392)	難病 (N=348)
1 仕事や学校等で平日は毎日外出する	67.1%	29.6%	29.9%
2 仕事や学校等で週に3～4日外出する	10.0%	18.4%	10.3%
3 遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する	4.2%	5.1%	10.3%
4 人づきあいのためにときどき外出する	1.3%	7.1%	10.1%
5 普段は家にいるが、自分の趣味に對する用事のみだけ外出する	4.2%	13.5%	10.9%
6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	4.6%	16.3%	15.5%
7 自宅からは出るが、家からは出ない	1.7%	4.3%	4.9%
8 自宅からほとんど出ない	1.3%	2.0%	1.7%
無回答	5.8%	3.6%	6.3%

付前1 問24で「5～8」のいずれかに答えた方にかかれます。

	知的 (n=28)	精神 (n=142)	難病 (n=115)
1 3か月未満	39.3%	17.6%	30.3%
2 3か月～6か月未満	7.1%	5.8%	18.3%
3 6か月～1年未満	3.6%	4.9%	20.4%
4 1年～5年未満	11.3%	10.7%	35.7%
5 5年～10年未満	6.1%	14.3%	13.9%
6 10年以上	13.0%	17.9%	15.7%
無回答	7.1%	2.8%	4.3%

付前2 付前1で「3～6」のいずれかに答えた方にかかれます。

	知的 (n=13)	精神 (n=105)	難病 (n=90)
1 病気	46.2%	68.6%	62.2%
2 介護・看護を担うことになったこと	7.7%	3.8%	10.0%
3 (就労中)自宅で仕事をしている	0.0%	3.8%	7.8%
4 学校になじめなかったこと	7.7%	5.7%	1.1%
5 職場になじめなかったこと	15.4%	10.5%	0.0%
6 交際が失敗したこと(高校・大学等)	7.7%	1.9%	0.0%
7 就職活動がうまくいかなかったこと	7.7%	6.7%	3.3%
8 人間関係がうまくいかなかったこと	7.7%	21.0%	0.0%
9 退職したこと	15.4%	22.9%	12.2%
10 その他(具体的に：)	15.4%	14.3%	8.9%
11 特に理由はない	23.1%	8.6%	10.0%
12 わからない	15.4%	3.8%	2.2%
無回答	7.7%	2.9%	1.1%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問25 あなた以外で、市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。(1つに○)

	知的	精神	知的	精神	知的	精神
1 普段は家にいるが、自分の趣味に關する月事のとぎだけ外出する	14.2%	16.1%	18.7%	18.7%	18.7%	18.7%
2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	5.8%	10.5%	6.6%	6.6%	6.6%	6.6%
3 自宅からは出るが、家からは出ない	0.8%	1.5%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%
4 自宅からは出るが、家からは出ない	0.4%	0.3%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%
5 いずれもない	43.8%	49.0%	51.4%	51.4%	51.4%	51.4%
6 外出状況がわからない	8.3%	7.4%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%
無回答	26.7%	15.3%	16.4%	16.4%	16.4%	16.4%

付問1 問25で「1～4」のいずれかに答えた方にかかいます。

ご家族の外出状況が現在の状態となつて、どのくらい続きますか。(1つに○)

	知的	精神	知的	精神	知的	精神
1 3か月未満	21.6%	19.8%	21.2%	16.2%	15.7%	33.3%
2 3か月～6か月未満	7.8%	2.7%	2.0%	13.7%	16.2%	9.1%
3 6か月～1年未満	3.9%	2.7%	10.1%	21.6%	29.7%	17.2%
無回答				15.7%	12.6%	7.1%

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに答えた方にかかいます。

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

	知的	精神	知的	精神	知的	精神
1 病気			25.0%	33.3%	34.8%	34.8%
2 介護・看護を担うことになったこと			3.6%	11.1%	11.6%	11.6%
3 (虐待・中)自宅の仕事をしている			3.6%	5.6%	2.9%	2.9%
4 学校になじめなかったこと			7.1%	2.8%	2.9%	2.9%
5 職場になじめなかったこと			3.6%	2.8%	1.4%	1.4%
6 受験に失敗したこと(高校・大学等)			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 就職活動がうまくいかなかったこと			3.6%	4.2%	0.0%	0.0%
8 人間関係がうまくいかなかったこと			7.1%	11.1%	5.8%	5.8%
9 退職したこと			10.7%	16.7%	15.9%	15.9%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

10 その他(具体的に：)	7.1%	19.4%	13.0%
11 特に理由はない	35.7%	15.3%	17.4%
12 わからない	3.6%	3.3%	0.0%
無回答	10.7%	5.9%	10.1%

6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問26 調布のまちは、障害(身体障害、知的障害、精神障害、難病など)のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。(1つに○)

	知的	精神	知的	精神	知的	精神
1 住みやすいと思う	32.9%	25.5%	20.4%	20.4%	20.4%	20.4%
2 どちらかといえば、住みやすいと思う	50.0%	49.0%	60.6%	60.6%	60.6%	60.6%
3 どちらかといえば、住みやすいと思わない	6.7%	12.2%	9.2%	9.2%	9.2%	9.2%
4 住みやすいと思わない	1.7%	7.9%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%
無回答	8.8%	5.4%	5.7%	5.7%	5.7%	5.7%

問27 共生社会の実現のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	聞いたことはある(内容は知らない)	知らない	無回答	説明
知的(N=240)	13.3%	21.3%	57.9%	7.5%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律
ア 障害者差別解消法	13.3%	21.3%	57.9%	7.5%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意識が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
イ 合理的配慮	15.0%	18.3%	58.8%	7.9%	「様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という強い思いを込めて作成した調布市のキャッチフレーズ
ウ パラハートようふ	17.1%	33.8%	41.3%	7.9%	

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

エ 調布市手話言語 事例	3.3%	13.8%	74.6%	8.3%	独自の言語である手語に対する理解 促進と普及を推進するための事例
オ 調布市障害者の 多様な意思疎通に関 する事例	4.6%	12.5%	74.6%	8.3%	障害の特性に応じた多様な意思 疎通（コミュニケーション）のための 手段、配慮、支援等に対する理解促進 と普及を推進するための事例

精神(N=392)	内容を知っている	聞いたことはある	(西条は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別解消法	11.0%	24.0%	62.0%	3.1%		障害を理由とする差別の解消を 推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	18.4%	21.4%	56.4%	3.8%		役所や事業者に対し、障害者から 社会の中にあるバリア(生活がしづら くなる社会的障壁)を取り除くために何ら かの対応を必要としているとの意識が 伝えられた時に、負担が重すぎない 範囲で対応すること
ウ バラハートちようふ	8.4%	34.9%	53.3%	3.3%		「様々な障害に対する理解を深め、 一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を 取り合って暮らせる社会に」という想い を込めて作成した調布市のキャッチフレ ーズ
エ 調布市手話 言語事例	3.8%	10.7%	80.4%	5.1%		独自の言語である手語に対する理解 促進と普及を推進するための事例
オ 調布市障害者の多様 な意思疎通に関する 事例	2.6%	10.7%	83.9%	2.8%		障害の特性に応じた多様な意思 疎通（コミュニケーション）のための 手段、配慮、支援等に対する理解促進 と普及を推進するための事例

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

難病(N=348)	内容を知っている	聞いたことはある	(西条は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別解消法	8.9%	21.8%	66.7%	2.6%		障害を理由とする差別の解消を 推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	8.3%	18.7%	69.0%	4.0%		役所や事業者に対し、障害者から 社会の中にあるバリア(生活がしづら くなる社会的障壁)を取り除くために何ら かの対応を必要としているとの意識が 伝えられた時に、負担が重すぎない 範囲で対応すること
ウ バラハートちようふ	8.3%	32.8%	56.3%	2.6%		「様々な障害に対する理解を深め、 一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を 取り合って暮らせる社会に」という想い を込めて作成した調布市のキャッチフレ ーズ
エ 調布市手話 言語事例	3.2%	14.9%	78.2%	3.7%		独自の言語である手語に対する理解 促進と普及を推進するための事例
オ 調布市障害者の多様 な意思疎通に関する 事例	2.9%	14.1%	79.9%	3.2%		障害の特性に応じた多様な意思 疎通（コミュニケーション）のための 手段、配慮、支援等に対する理解促進 と普及を推進するための事例

調布市手話言語事例

調布市障害者の多様な意思疎通に関する事例」についてはこちら⇒

「バラハートちようふ」についてはこちら⇒



i

コラム ■ 東京2025デフリンピックが調布にやってくる！
デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「盲が聞こえない」という意味です。

デフリンピックは国際的な「聞こえない人」のためのオリンピックで、11月15日から26日まで、日本で初めて開催されます。調布市では東京アリーナ TOKYO で/イベント・競技が実施されます。予約不要、入場無料で観戦できます。



▶ デフリンピックについて詳しくはこちら

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問28 外出時に使用している主な移動手段は何か。(2つまで○)

	知的(N=240)	精神(N=392)	知的(N=348)
	知的	精神	精神
1 自家用車(自ら運転する)	2.5%	4.8%	22.4%
2 自家用車(運転手が別にいる)	27.5%	8.4%	11.2%
3 電車	46.7%	65.1%	45.7%
4 バス	32.1%	36.5%	27.0%
5 タクシー	5.0%	4.6%	13.5%
6 徒歩・自転車・車いす	52.1%	62.0%	52.3%
7 その他(具体的に:)	1.7%	2.6%	3.4%
8 該当なし	0.8%	0.3%	0.9%
無回答	5.4%	2.6%	2.3%

問29 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザイン(※)について、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
	知的(N=240)					
ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	5.8%	25.0%	22.9%	5.4%	30.4%	10.4%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	9.6%	37.9%	12.5%	4.2%	25.0%	10.8%
ウ 車いすの人や乳幼児を運んだ人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ	11.7%	26.3%	21.7%	4.2%	25.4%	10.8%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	5.8%	17.1%	30.0%	15.0%	22.5%	9.6%
オ 点字ブロックや視覚障害者の信号機	8.8%	25.8%	21.3%	4.2%	30.8%	9.2%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシー	8.3%	22.9%	16.3%	6.3%	35.8%	10.4%
キ 車いす使用者等用の駐車場	6.3%	17.9%	19.6%	6.7%	39.2%	10.4%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

	誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	5.4%	17.5%	19.6%	4.2%	42.9%	10.4%
	ケ 手話の対応や音声ガイドがある施設	3.8%	8.3%	16.3%	7.5%	53.5%	10.4%
	コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	3.3%	8.8%	12.5%	9.6%	55.4%	10.4%
	サ 公園・通路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン	5.8%	16.7%	15.0%	6.7%	45.4%	10.4%
	シ 高齢者、子ども連れの家系、障害や病氣などがある人に対する人々の接し方や配慮	5.8%	19.2%	18.8%	11.3%	34.2%	10.8%
	精神(N=392)						
ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	2.6%	24.7%	26.3%	8.7%	30.3%	6.9%	
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	5.6%	41.3%	15.6%	6.4%	24.2%	6.9%	
ウ 車いすの人や乳幼児を運んだ人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ	5.1%	32.9%	20.2%	6.4%	27.3%	7.7%	
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	3.8%	20.4%	26.3%	18.4%	24.2%	6.9%	
オ 点字ブロックや視覚障害者の信号機	4.6%	29.3%	17.9%	6.6%	33.9%	7.7%	
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシー	3.3%	26.5%	15.8%	7.1%	39.3%	7.4%	
キ 車いす使用者等用の駐車場	2.8%	20.9%	14.5%	6.9%	47.2%	7.7%	
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	4.1%	19.9%	19.9%	7.4%	41.5%	7.1%	
ケ 手話の対応や音声ガイドがある施設	2.0%	10.7%	14.5%	9.4%	55.9%	7.4%	

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

コ	補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1.8%	9.2%	14.5%	11.2%	56.1%	7.1%
サ	公園・道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン	3.6%	21.7%	16.6%	9.2%	41.8%	7.1%
シ	高齢者、子ども連れの家族、障害や病氣などがある人に対する人々の接し方や配慮	3.8%	17.1%	21.7%	15.3%	33.9%	8.2%
難病(N=348)							
ア	重いつのりを含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	1.1%	23.9%	36.2%	8.6%	25.3%	4.9%
イ	公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	3.4%	47.1%	22.4%	4.9%	17.2%	4.9%
ウ	重いつのりや乳幼児を運搬した人、介助者の同伴が必要など、誰もが使いやすいトイレ	2.6%	31.6%	31.3%	7.8%	21.6%	5.2%
エ	歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)を取り除く、段差や凹凸が少なく十分な幅のある歩道や道路	0.9%	16.1%	39.4%	22.7%	16.1%	4.9%
オ	点字ブロックや視覚障害者の信号機	1.4%	28.2%	25.9%	7.2%	31.3%	6.0%
カ	重いつのりやベーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシー	0.6%	25.3%	24.1%	8.9%	35.5%	5.5%
キ	重いつのり使用者専用の駐車場	2.0%	22.4%	21.0%	7.5%	39.7%	7.5%
ク	誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	1.7%	16.1%	27.0%	8.0%	40.8%	6.3%
ケ	手話の対応や音声ガイドがある施設	0.0%	6.0%	22.1%	6.9%	58.3%	6.5%
コ	補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.0%	4.9%	20.7%	10.1%	57.8%	6.6%
サ	公園・道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン	0.6%	16.7%	25.0%	11.2%	40.2%	6.3%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

シ	高齢者、子ども連れの家族、障害や病氣などがある人に対する人々の接し方や配慮	0.9%	24.4%	30.7%	8.6%	28.7%	6.5%
※ ユニバーサルデザインとは、障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず、多様な人が利用しやすいよう、事前に環境などをデザインすること。							
問30 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病氣・障害・困難・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)のために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)							
				知的(N=240) 難病(N=392)		精神(N=348)	
				知時	難病	精神	難病
1	学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実			45.4%	39.5%		52.9%
2	意識啓発のための研修・講演会の開催			10.8%	11.5%		9.8%
3	障害者や外国人など、さまざまな住民が交流する機会を増やす			23.8%	24.0%		19.5%
4	わかりやすい情報発信			33.3%	46.4%		51.4%
5	その他(具体的に:)			1.7%	4.6%		2.3%
6	わからない			18.8%	20.7%		12.4%
	無回答			11.3%	6.1%		7.2%
問31 普段の暮らしや外出のとき、障害や病氣への差別や偏見、配慮のなさを感じる場面はありますか。(いくつでも○)							
				知的(N=240) 精神(N=392)		難病(N=348)	
				知時	精神	難病	難病
1	教育の機会			16.3%	11.2%		7.8%
2	仕事や取引			26.7%	39.5%		14.9%
3	近所付き合いや地域の行事・活動			16.3%	14.3%		5.7%
4	店での扱いや店員の対応・態度			17.9%	13.0%		11.2%
5	まちなかでの人の視線			32.5%	20.4%		11.2%
6	交通機関や建物のつくりの配慮			20.0%	18.9%		20.4%
7	行政職員の応対・態度			7.9%	15.1%		5.6%
8	その他(具体的に:)			4.2%	6.9%		4.6%
9	特に感じない			29.2%	29.1%		49.1%
	無回答			10.0%	6.6%		7.2%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問32 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード(※)、ヘルプマーク(※)をもっていますか。(それぞれ1つに○)

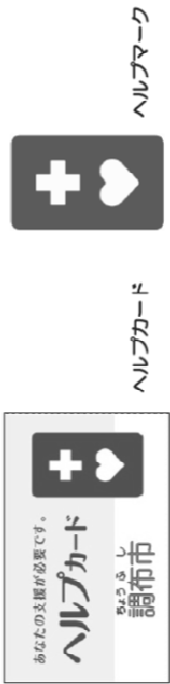
	知灼(N=240)
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている 28.7%
	2 もっているが、もち歩いていない 26.3%
	3 もっていないが、ほしいと思う 10.0%
	4 もっていないし、必要ない 28.3%
②ヘルプマーク	無回答 5.7%
	1 もっていて、いつも、もち歩いている 24.2%
	2 もっているが、もち歩いていない 17.1%
	3 もっていないが、ほしいと思う 15.8%
	4 もっていないし、必要ない 32.9%
	無回答 10.0%

	精神(N=392)
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている 14.3%
	2 もっているが、もち歩いていない 29.3%
	3 もっていないが、ほしいと思う 15.3%
	4 もっていないし、必要ない 35.2%
②ヘルプマーク	無回答 5.9%
	1 もっていて、いつも、もち歩いている 21.9%
	2 もっているが、もち歩いていない 21.4%
	3 もっていないが、ほしいと思う 19.4%
	4 もっていないし、必要ない 31.6%
	無回答 5.6%

	難病(N=348)
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている 7.2%
	2 もっているが、もち歩いていない 10.3%
	3 もっていないが、ほしいと思う 16.1%
	4 もっていないし、必要ない 60.3%
②ヘルプマーク	無回答 5.0%
	1 もっていて、いつも、もち歩いている 14.9%
	2 もっているが、もち歩いていない 9.5%
	3 もっていないが、ほしいと思う 16.1%
	4 もっていないし、必要ない 54.0%
	無回答 5.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなるものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これは別に、障害のある人に限らず、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。



問33 ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けしてもらったりしたことがありますか。(1つに○) 知灼(N=240) 精神(N=392) 難病(N=348)

	知灼	精神	難病	知灼	精神	難病
1 ある	13.8%	16.6%	10.9%	3 もっていない・わからない	39.6%	46.7%
2 ない	37.5%	30.4%	16.1%	無回答	9.2%	6.4%
						10.3%

7 デジタルの活用についておたずねします

問34 調布市の保健福祉施設(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○) 知灼(N=240) 精神(N=392) 難病(N=348)

	知灼	精神	難病
1 市のホームページ	16.3%	24.5%	29.3%
2 市の広報紙・チラシ	37.1%	37.2%	47.4%
3 市役所・相談機関などの窓口	17.1%	20.7%	12.6%
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	4.2%	5.1%	4.0%
5 家族、友人、知人からの口コミ	22.9%	14.8%	10.9%
6 SNS	6.3%	12.8%	9.8%
7 その他(具体的に:)	2.9%	3.1%	1.4%
8 知らない、情報は入手していない	28.3%	27.8%	22.7%
無回答	9.2%	5.1%	4.6%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問35 普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)
知的(N=240) 精神(N=392) 知的(N=392) 精神(N=348)

	知的	精神	知的	精神	知的	精神
1 使っている	55.8%	82.7%	78.4%	2 使っていない	36.7%	12.8%
				無回答	7.5%	4.6%
						3.4%

問36 あなたがスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていたこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)

8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問37 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	知的(N=240)	知っていない	無回答	説明
アドルチェ (相談支援・地域活動支援センター)	26.3%	63.7%	10.0%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちようふだぞう (相談支援・地域活動支援センター)	83.8%	10.8%	5.4%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘 (相談支援・地域活動支援センター)	8.8%	79.2%	1.1%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター (相談支援・デイ事業等)	27.5%	61.3%	1.3%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	4.2%	83.8%	2.1%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	12.9%	75.4%	1.7%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

キ 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会)	29.6%	61.3%	9.2%	地域福祉コーディネーターは、支援者支援を主な役割として、市は8つの福祉領域に1名ずつ配置されており、生活への悩みや困りごとを抱える方、制度の展開で苦しんでいる方に対し、様々な機関や団体と連携しながら、課題の解決を図ります。
ク 成年後見制度	35.4%	55.4%	9.2%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていただくことによって、法的に保護する制度です。 市は、権利擁護支援の窓口である「利用者サポート相談」に専門の相談員を配置し、権利擁護支援を必要とする方に対し、相談支援等を行っています。(福祉総務課)

	知っている	知らない	無回答	説明
アドルチェ (相談支援・地域活動支援センター)	18.9%	75.5%	5.6%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちようふだぞう (相談支援・地域活動支援センター)	27.8%	67.3%	4.8%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘 (相談支援・地域活動支援センター)	17.3%	76.8%	5.9%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター (相談支援・デイ事業等)	48.0%	46.9%	5.1%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	4.8%	89.0%	6.1%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	7.7%	86.2%	6.1%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会)	23.0%	71.4%	5.6%	地域福祉コーディネーターは、支援者支援を主な役割として、市は8つの福祉領域に1名ずつ配置されており、生活への悩みや困りごとを抱える方、制度の展開で苦しんでいる方に対し、様々な機関や団体と連携しながら、課題の解決を図ります。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

ク 成年後見制度	39.5%(54.6%)	5.9%	39.5%(54.6%)	5.9%	39.5%(54.6%)	5.9%
判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていただくことによって、法的に保護する制度です。 市は、権利擁護支援の窓口である「利用者サポート相談」に専門の相談員を配置し、権利擁護支援を必要とする方に対し、相談支援等を行っています。(福祉総務課)						
ア ドルチェ (相談支援・地域活動支援センター)	難病(N=348)	知的障害者	知的障害者	知的障害者	知的障害者	知的障害者
イ ちようふだぞう (相談支援・地域活動支援センター)	13.5%	80.7%	5.7%	13.5%	80.7%	5.7%
ウ 希望が丘 (相談支援・地域活動支援センター)	21.3%	73.3%	5.5%	21.3%	73.3%	5.5%
エ こころの健康支援センター (相談支援・デイ事業等)	5.7%	87.1%	7.2%	5.7%	87.1%	7.2%
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	16.1%	77.0%	8.9%	16.1%	77.0%	8.9%
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	40.8%	54.6%	4.6%	40.8%	54.6%	4.6%
キ 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会)	10.1%	84.2%	5.7%	10.1%	84.2%	5.7%
ク 成年後見制度	27.3%(67.0%)	5.7%	27.3%(67.0%)	5.7%	27.3%(67.0%)	5.7%
判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていただくことによって、法的に保護する制度です。 市は、権利擁護支援の窓口である「利用者サポート相談」に専門の相談員を配置し、権利擁護支援を必要とする方に対し、相談支援等を行っています。(福祉総務課)						

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問38 調布市の障害者福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何か。(いくつでも○)	知的(N=240)	精神(N=392)	難病(N=348)
1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口	55.8%	24.5%	60.6%
2 健康づくりや地域での交流サービス	24.5%	26.5%	25.6%
3 手当てや医療費の助成などの経済的な支援	38.8%	56.6%	53.4%
4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援	28.7%	19.9%	11.2%
5 ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス	20.0%	25.5%	30.5%
6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援	22.9%	17.6%	10.3%
7 介助者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	30.3%	19.1%	21.3%
8 日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備	28.3%	25.3%	9.8%
9 企業などで働くための支援(就労支援)	23.3%	31.9%	17.5%
10 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	26.3%	26.5%	13.8%
11 グループホームなど、地域における住まいの場の整備	40.4%	19.1%	12.4%
12 障害理解の促進や差別の解消	31.7%	34.4%	13.5%
13 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	20.4%	21.4%	28.2%
14 障害に応じた多様な情報提供の充実	29.2%	35.2%	19.3%
15 災害時の支援体制の整備	32.9%	30.6%	29.3%
16 デジタル技術を活用した、情報提供や意思疎通支援	15.0%	23.5%	15.5%
17 その他(具体的に:)	3.3%	5.9%	1.7%
無回答	11.3%	7.1%	8.9%
問39 市民同士が互いに支え合い、住み暮らしを安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、以下の①～③の取組が重要です。これらの取組について、ご意見、ご提案をお願いします。(自由記述) 取組番号: ① ・ ② ・ ③ (いずれかに○。複数選択可) ご意見、ご提案 3つの取組以外で気になっていること			

9 ご家族におたずねします
(ひとり暮らし、グループホームなどの人は回答不要)

問40 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

主に介助や支援をしている人の年齢を教えてください。(1つに○)

	認知 知的	精神 知的	難病 知的	精神 知的	難病 知的	精神 知的	難病 知的
1 10歳代	1.4%	1.2%	1.1%	5 60歳代	22.5%	13.5%	11.2%
2 20歳代	6.7%	2.0%	2.2%	7 70歳代	13.9%	11.6%	15.1%
3 30歳代	1.4%	8.8%	1.1%	8 80歳以上	5.7%	7.6%	7.6%
4 40歳代	2.9%	8.8%	4.7%	9 いなし	6.7%	7.6%	23.7%
5 50歳代	29.7%	17.9%	13.7%		無回答	9.1%	19.8%

問41 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

介助や支援にあたってどのような不安や困りごことがありますか。(いくつでも○)

	認知 知的	精神 知的	難病 知的	精神 知的	難病 知的
1 障害や病気のことがよくわからない	1.9%	14.7%	9.0%		
2 適切な介助・支援の方法がわからない	6.7%	16.3%	10.8%		
3 自分の時間をもてない(余暇・外出・休養など)	20.6%	12.0%	10.8%		
4 自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい	12.4%	6.8%	2.9%		
5 自分の学校・学習がおろそかになる	0.0%	1.6%	0.4%		
6 介助・支援をする家族自身の高齢化	53.6%	27.5%	20.1%		
7 介助・支援をする家族自身も障害や障害がある	14.8%	15.9%	5.8%		
8 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる	18.2%	10.0%	4.0%		
9 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない	32.1%	22.3%	10.4%		
10 相談できる場所がない	5.7%	11.6%	3.6%		
11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない	11.0%	9.6%	4.7%		
12 経済的な負担が大きい	12.9%	22.3%	12.2%		
13 その他(具体的に：)	8.1%	2.8%	1.8%		
14 知らない	15.3%	16.7%	22.7%		
15 いないのでわからない	2.9%	3.6%	14.7%		
無回答	7.7%	25.5%	23.4%		

問42 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。
介助する人への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

	認知 知的	精神 知的	難病 知的	精神 知的	難病 知的
1 介助者同士が交流したり、話し合える場を作ってくれること	13.4%	8.8%	6.5%		
2 本人の介助や支援から離れる時間を作ってくれること	24.9%	15.5%	14.4%		
3 家事や育児を手伝ってくれること	5.7%	11.2%	6.8%		
4 介助や支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及	22.0%	19.9%	9.0%		
5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	50.2%	34.7%	22.3%		
6 その他(具体的に：)	8.1%	4.8%	1.4%		
7 わからない	12.4%	21.1%	31.7%		
無回答		12.4%	29.9%		

アンケートは以上です。たくさんのご質問にお答えいただき、誠にありがとうございます。
調査結果はホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和8年4月頃の予定)。

5 障害児（18歳未満）の保護者

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート（保護者）】

子どもと保護者が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願い～

市民の皆さまには、日頃から調布市の福祉行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを着実に進めることに市民の皆さまの意見をいかに活かすため、障害者手帳や児童福祉通所受給者証をもつお子さんの中から 300 人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年10月 調布市長 長友 貴樹

皆さまの回答は、子どもと保護者が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

調布市の福祉は市民が主役です。例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。



市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



回答は、封筒のあて名のお子さんを主にサポートしている保護者がお答えください。

パラハートちやうふ
つちがへう、ひらけよう、共に生きよう

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート（保護者）】

～記入についてお願い～

【回答期限】 令和7年11月4日(火) 【回答所要時間】 30分(目安)

【回答方法】 郵送 または インターネット



(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

- ① 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。
- ② 質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ③ **回答しづない、わからない場合は無理をせず、次の問に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。**
- ④ 回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ① 以下のURL、または二次元コードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。
- ② 調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③ 回答の途中で保存することができます。

<専用ウェブサイトURL>

<https://smilesurvey.co/s/15b22d08/o>



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7094(直通)

Fax 042-481-4288

E-mail syougai@city.chofu.lg.jp



1 保護者(調査に回答していただく人)についておたずねします

問1 あて名のお子さんからみて、保護者(回答者)はどなたですか。(1つに○)

1 親	98.9%	3 祖父母	0.0%	5 その他	0.0%
2 兄弟姉妹	0.0%	4 その他の親族	0.0%	無回答	1.1%

問2 保護者の性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	10.3%	2 女性	87.0%	3 その他	0.5%	無回答	2.2%
------	-------	------	-------	-------	------	-----	------

問3 保護者の年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年10月1日現在)

1 10歳代	1.1%	3 30歳代	24.3%	5 50歳代	14.6%	7 70歳代	0.0%
2 20歳代	0.0%	4 40歳代	58.4%	6 60歳代	0.5%	8 80歳以上	0.0%
						無回答	1.1%

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)									
1	東つつじヶ丘1丁目、2丁目	緑ヶ丘	仙川町							
11.4%	西つつじヶ丘1丁目、2丁目、3丁目	若葉町1丁目								
2	東つつじヶ丘3丁目	菊野台	入間町							
7.6%	西つつじヶ丘4丁目	若葉町2丁目、3丁目								
3	佐須町1丁目、2丁目、4丁目、5丁目	調布ヶ丘3丁目	柴崎							
13.5%	深大寺南町1丁目、2丁目、3丁目	深大寺東町3丁目、4丁目								
4	深大寺東町1丁目、2丁目、5丁目、6丁目、7丁目、8丁目	深大寺北町								
8.6%	深大寺元町2丁目、3丁目、4丁目、5丁目	深大寺南町4丁目、5丁目								
5	国領町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、5丁目、8丁目	佐須町3丁目								
10.3%	布田2丁目、3丁目	調布ヶ丘2丁目	八雲台							
6	国領町6丁目、7丁目	布田5丁目、6丁目								
13.0%	多摩川6丁目、7丁目	染地								
7	多摩川11丁目、2丁目、3丁目、4丁目、5丁目	調布ヶ丘1丁目、4丁目								
21.6%	布田1丁目、4丁目	深大寺元町1丁目	下石原1丁目	小島町						
8	上石原	富士見町	西町							
13.0%	下石原2丁目、3丁目	飛田給	野水							
無回答	1.1%									

問5 あなた(保護者)は、ご自分の健康状態どのように感じていますか。(1つに○)

1 よい	29.2%	3 ふつう	41.1%	5 よくない	4.3%
2 どちらかといえはい	15.7%	4 どちらかといえはよくない	5.9%	無回答	3.8%

2 保護者の方に、あて名のお子さんについておたずねします

問6 あて名のお子さんの就学状況を教えてください。(1つに○)

1 小学校就学前	27.6%	2 い小学校就学後	72.4%	無回答	0.0%
----------	-------	-----------	-------	-----	------

問7 あて名のお子さんの性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	65.9%	2 女性	33.0%	3 その他	0.5%	無回答	0.5%
------	-------	------	-------	-------	------	-----	------

問8 あて名のお子さんがおもちの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

1 身体障害者手帳							10.3%
2 愛の手帳							39.5%
3 精神障害者保健福祉手帳							1.6%
4 特定医療費(指定難病)受給者証または小児慢性特定疾病医療受給者証							5.4%
5 児童福祉法所定受給者証・障害福祉サービス受給者証							71.4%
無回答							2.2%

身体障害者手帳 (n=19)	1級			2級			3級		
	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級
愛の手帳 (n=73)	1度	1.4%	2度	31.5%	23.3%	42.5%	4度	無回答	1.4%
精神障害者保健福祉手帳 (n=3)	1級	0.0%	2級	33.3%	66.7%	3級	無回答	0.0%	

問9 あて名のお子さんは、どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定医療費(指定難病)受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証をもつ人は、「11 その他」の欄に病名をご記入ください。

1 目が不自由(視覚障害)	1.6%
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)	4.3%
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)	10.8%
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)	6.5%
5 心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸などの障害(内部障害)	3.2%
6 免疫機能障害	0.5%
7 知的障害	43.2%
8 精神疾患・精神障害(発達障害を除く)	0.0%
9 発達障害(自閉スペクトラム症、学習症(LD)、注意欠如・多動症(ADHD)など)	62.2%
10 高次脳機能障害	0.0%
11 その他(具体的に:)	9.7%
無回答	3.8%

調布市民福祉センター調査【障害児アンケート（保護者）】	
※問 10・問 11 は、小学校就学後のお子さんについておたずねします	
問10 あて名のお子さんが小学校就学後の保護者の方におたずねします。あて名のお子さんは、現在、学校以外の時間でどのようなサービスや施設などを利用して過していますか。(いくつでも○)	
1 学童クラブ・あそびバ	30.6%
2 放課後等デイサービス事業所	86.6%
3 日中一時支援事業所	3.7%
4 児童館・青少年ステーションCAPS(中・高校生世代の「第三の居場所施設」)	2.2%
5 民間の習いごと・教室・フリースペースなど	30.6%
6 その他(具体的に:)	6.7%
7 特に何も利用していない	4.5%
無回答	0.0%

問11 あて名のお子さんが小学校就学後の保護者の方におたずねします。あて名のお子さんの放課後活動に求めていることはありますか。(いくつでも○)	
1 人との交流	70.1%
2 学習の補助	41.0%
3 体を動かす	73.1%
4 家族がいない間の見守り・預か	51.5%
5 興味の幅を広げる	59.7%
6 コミュニケーションの力をつける	77.6%
7 ルールやマナーを身につける	58.2%
8 その他(具体的に:)	3.0%
無回答	0.7%

※次の設問から全員におたずねします

問12 あて名のお子さんは、普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)	十分に ある	十分に はないが、 ある	機会が ない	必要 ない、 できない	無 回 答
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	51.9%	40.5%	4.9%	2.7%	0.0%
イ 友人・知人との交流	33.0%	45.9%	16.2%	4.9%	0.0%
ウ スポーツ・運動をする※1機会	31.9%	50.8%	12.4%	4.9%	0.0%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動※2の機会	22.7%	44.3%	27.6%	5.4%	0.0%
オ ウ、エ以外の趣味や習いごと	23.8%	27.0%	32.4%	15.7%	1.1%

※1 ここで「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含みます。これ以降の質問についても同じです。

※2 ここで「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

調布市民福祉センター調査【障害児アンケート（保護者）】	
問13 あて名のお子さんは、スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)	1 週に2回以上 35.7% 3 月に1, 2 回程度 10.8% 2 週に1回程度 31.9% 4 ほとんどしない 18.4% 無回答 3.2%
問14 あて名のお子さんの日常生活で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)	(保育園・幼稚園・認定こども園・学校でのこと) 1 子どもの障害について十分に理解されていない 14.6% 2 子どもの障害に応じた十分な支援を受けられていない 21.6% 3 同級生や友人・知人との人間関係 45.4% 4 保育・教育のことについて、相談できる場所がない 13.0% (保育園・幼稚園・認定こども園・学校以外での活動のこと) 5 障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない 32.4% 6 障害児施設(子ども発達センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービスなど)で十分な支援を受けられていない 14.6% 7 障害児施設以外に利用できる放課後、休日などの活動場所が少ない 31.9% 8 余暇活動(外出、スポーツ、趣味、その他の習いごと、サークル活動など)の機会が少ない 34.6% (その他) 9 その他(具体的に:) 8.1% 10 特にない 18.4% 無回答 3.8%
問15 あて名のお子さんについて、医療機関(歯科を含む)の受診で困ることはありますか。(いくつでも○)	1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない 4.3% 2 かかりつけ歯科医(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない 12.4% 3 定期的な健康診断を受けられない 3.2% 4 定期的な歯科健診を受けられない 4.9% 5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない 20.5% 6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある 4.3% 7 通院するときに介助してくれる人がいない 7.0% 8 医療費や交通費の負担が大きい 11.9% 9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい 9.7% 10 その他(具体的に:) 13.0% 11 特にない 42.7% 無回答 5.9%

問16 将来、あて名のお子さんに、どのような進学先を希望していますか。(1つに○)

1 中学校まで	0.5%	4 大学まで	30.3%
2 高等学校まで	28.6%	5 その他(具体的に:)	5.4%
3 専門学校・高等専門学校・短期大学まで	8.6%	6 わからない	23.2%
		無回答	3.2%

問17 将来、あて名のお子さんに、どのような働き方を希望していますか。(1つに○)

1 会社やお店などで働く(一般就労)	43.2%	4 わからない	30.8%
2 地域の障害者施設(作業所など)で働く	16.2%	5 働くことは困難だと思う	3.8%
3 その他(具体的に:)	2.7%	無回答	3.2%

問18 あて名のお子さんが仕事をするために、必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

1 技術、知識、資格などの習得	55.7%
2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日、勤務時間の設定	39.5%
3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)	42.7%
4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー	6.5%
5 雇用する会社の相談体制や上司や同僚の病気や障害への理解、協力	60.5%
6 通勤や勤務中の介助や支援	27.0%
7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどが相談できる窓口	53.5%
8 職場実習など、就職前に試みに働く機会の拡大	45.4%
9 その他(具体的に:)	6.5%
10 特になし	4.9%
無回答	4.3%

問19 将来、あて名のお子さんに、どのような生活を希望しますか。(1つに○)

1 親やきょうだい(兄弟・姉妹)などの家族と一緒に生活する	11.4%
2 ひとり暮らし、または本人の配偶者と一緒に生活する	48.1%
3 グループホームで生活する	14.6%
4 入所施設で生活する	3.8%
5 その他(具体的に:)	3.8%
6 わからない	14.6%
無回答	3.8%



3 保護者の方に、相談支援についておたずねします

問20 あなた(保護者)が悩みや困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

1 家族・親族(一緒に住んでいる・離れて住んでいる)	75.1%
2 幼稚園、保育園、認定こども園、学校の先生・職員	51.9%
3 友人・知人	47.0%
4 子ども発達センターの職員	30.3%
5 子ども家庭支援センター・こよかの職員	10.3%
6 障害相談所の職員・教育支援コーディネーター・スクールソーシャルワーカー	5.9%
7 サービス等利用計画の作成、モニタリングなどを行う相談支援専門員	17.8%
8 障害児施設(児童発達支援、放課後等デイサービスなど)の職員、ヘルパー	45.9%
9 市役所・子ども家庭センターの職員	4.9%
10 民生委員・児童委員	0.0%
11 医療機関(医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護)の職員	27.0%
12 その他(具体的に:)	6.5%
13 相談する人がいない	2.7%
14 相談の必要はない	0.0%
無回答	1.1%

問21 あなた(保護者)は、介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

1 障害や病気のことがよくわからない	9.7%
2 適切な介助・支援の方法がわからない	33.5%
3 自分の時間がもてない(余暇・外出・休養など)	33.0%
4 自分の希望する仕事につくことが難しい	33.0%
5 介助・支援をする家族自身の高齢化	20.0%
6 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある	6.5%
7 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる	11.9%
8 本人のきょうだい(兄弟・姉妹)にも本人の介助や支援の負担をかけている	15.1%
9 年かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない	35.7%
10 相談できる場所がない	10.3%
11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない	16.2%
12 経済的な負担が大きい	18.4%
13 その他(具体的に:)	8.6%
14 特になし	14.6%
無回答	1.6%

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート（保護者）】

問22 本人の介助・支援に関連し、本人のきょうだい（兄弟・姉妹）についてどのような不安や困りごことがありますか。（いくつでも○）

1 本人のきょうだいはいない	32.4%
2 きょうだいの学校・学業に影響がある	2.7%
3 きょうだいの就労に影響がある	0.5%
4 きょうだいが好きなおこと・やりたいことを我慢している	15.7%
5 本人の介助・支援をきょうだいのみに任せなければいけないときがある	3.2%
6 きょうだいの家事の負担が大きい	1.1%
7 保護者がきょうだいに十分に接する時間が取れない	18.4%
8 きょうだいと本人の関係がうまく保てない	13.5%
9 その他（具体的に： ）	5.9%
10 特にない	29.7%
無回答	2.7%

問23 保護者への支援として力を入れてほしいことは何ですか。（いくつでも○）

1 保護者同士が交流したり、話し合える場を作ってくれること	28.1%
2 本人の育児や介助・支援から離れる時間を作ってくれること	40.5%
3 家事や育児を手伝ってくれること	24.9%
4 育児や本人の介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及	47.6%
5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	59.5%
6 その他（具体的に： ）	14.6%
無回答	4.9%

4 保護者の方に、日頃のコミュニケーションについておたずねします

問24 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ1つに○）

	ない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
ア 自分には人とのつきあいがないと感じることもある	21.6%	27.6%	34.1%	16.2%	0.5%
イ 自分を取り残されていると感じることがある	22.7%	34.1%	31.9%	10.8%	0.5%
ウ 自分是他の人たちから孤立していると感じることがある	22.7%	34.6%	32.4%	9.7%	0.5%
エ 自分は孤独であると感じることがある	27.6%	33.0%	30.3%	8.6%	0.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート（保護者）】

問25 家族や友人などのコミュニケーション頻度についておたずねします。
あなたは同居していない家族や友人などのコミュニケーション頻度について、お答えください。
（それぞれ1つに○）

	週4回以上	週3回程度	週2回程度	週1回程度	2週間以上1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない、できない	無回答
同居していない相手とのコミュニケーション方法									
ア 直接会って話す（手紙等を含む）	13.0%	13.5%	14.1%	11.4%	11.4%	13.5%	24.3%	8.6%	1.6%
イ 電話（ビデオ通話含む）	5.4%	12.4%	9.7%	11.9%	11.9%	22.7%	18.9%	17.3%	1.6%
ウ SNS*や電子メールなど	25.4%	18.9%	17.3%	12.4%	12.4%	11.9%	7.6%	4.9%	1.6%

* SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス（例：ライン・エックス（旧ツイッター）・フェイスブックなど）。

5 保護者の方に、災害時の対策についておたずねします

問26 あなた（保護者）は、防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。（1つに○）

1 確認している	77.8%	2 確認していない	22.2%	無回答	0.0%
----------	-------	-----------	-------	-----	------

問27 あなた（保護者）は、災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。（1つに○）

1 防災行政無線	7.6%	5 ケーブルテレビ	1.1%
2 調布市防災・安全情報メール	49.7%	6 SNS（市の公式アカウントを含む）	23.2%
3 調布FM	0.0%	7 その他（具体的に： ）	1.6%
4 市ホームページ	7.6%	8 わからない	8.6%
		無回答	0.5%

6 保護者の方に、誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問28 調布のまちは、障害（身体障害、知的障害、精神障害、難病など）のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいと思わない 18.4%
1 住みやすいと思う 11.9% 3 どちらかといえば、住みやすいと思わない 4.9%
2 どちらかといえば、住みやすいと思う 63.2% 4 住みやすいと思わない 1.6%

1 住みやすいと思う	11.9%	3 どちらかといえば、住みやすいと思わない	4.9%
2 どちらかといえば、住みやすいと思う	63.2%	4 住みやすいと思わない	1.6%
無回答			

問29 共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。（それぞれ1つに○）

	内容を知っている	関心は持たない（知らない）	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別解消法	18.9%	26.5%	54.6%	0.0%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	31.4%	28.6%	40.0%	0.0%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア（生活がしづらくなる社会的障壁）を取り除くために何らかの対応を必要としていること の意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
ウ パラハートようふ	17.8%	60.0%	22.2%	0.0%	「様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という願いを込めて作成した調布市のキャッチフレーズ
エ 調布市手話言語条例	4.3%	10.8%	84.9%	0.0%	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	3.2%	13.0%	83.8%	0.0%	障害の特性に応じた多様な意思疎通（コミュニケーション）のための手段、配慮、支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例

「調布市手話言語条例」
「調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例」についてはこちら⇒



「パラハートようふ」についてはこちら⇒



コラム ■ 東京 2025 デフリンピックが調布にやってくる！

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。

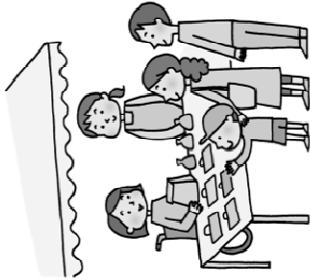
デフリンピックは国際的な聞こえない人のためのオリンピックで、11月15日から26日まで、日本で初めて開催されます。調布市では京王アリーナ TOKYO でバドミントン競技が実施されます。予約不要、入場無料で開催できます。



▶デフリンピックについて詳しくはこちら

問30 外出時に使用している主な移動手段は何ですか、(2つまで○)

1 自家用車(自ら運転する)	33.0%	6 徒歩・自転車・車いす	67.0%
2 自家用車(運転手が別にいる)	19.5%	7 その他(具体的に:)	1.6%
3 電車	45.9%	8 該当なし	0.0%
4 バス	16.2%	無回答	2.2%
5 タクシー	3.2%		



問31 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザイン※について、どのように感じていますか。
(それぞれ1つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	0.0%	23.2%	35.8%	9.2%	29.7%	1.1%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	2.7%	40.0%	28.1%	3.8%	23.8%	1.6%
ウ 車いすの人や乳幼児を運んだ人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ	1.1%	31.9%	35.8%	7.6%	20.0%	2.7%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や通路	0.0%	15.1%	40.0%	25.4%	17.3%	2.2%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	0.5%	25.9%	24.3%	3.2%	44.3%	1.6%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシー	0.0%	25.4%	25.9%	8.6%	38.4%	1.5%
キ 車いす使用者等用の駐車場	0.5%	20.0%	24.9%	2.2%	50.8%	1.6%
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	0.0%	22.7%	22.2%	4.9%	47.6%	2.7%
ケ 手話の対応や音声ガイドがある施設	0.0%	5.4%	16.2%	7.0%	68.6%	2.7%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.0%	2.7%	16.2%	5.9%	72.4%	2.7%
サ 公園・通路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン	0.0%	23.2%	29.7%	7.6%	36.8%	2.7%
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	1.1%	21.1%	29.2%	13.0%	33.5%	2.2%

※ ユニバーサルデザインとは、障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず、多様な人が利用しやすいよう、事前に環境などをデザインすること。

問32 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病氣・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

1 学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、	75.1%
2 障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実	9.2%
3 意識啓発のための研修・講演会の開催	22.7%
4 わかりやすい情報発信	45.9%
5 その他(具体的に:)	7.0%
6 わからない	5.9%
無回答	1.6%

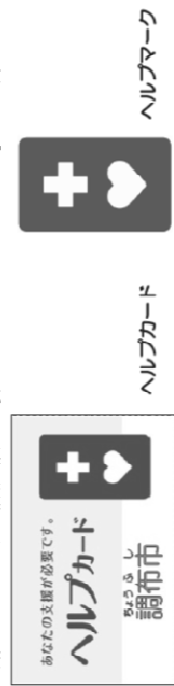
問33 あなた(保護者)は、お子さんが生活する中で、障害や病氣への差別や偏見、配慮のなさを感じることはありませんか。(いくつでも○)

1 教育・保育の機会	40.5%	6 交通機関や建物のつくりの配慮	10.3%
2 近所付き合い・地域の行事・活動	22.2%	7 行政職員の応対・態度	13.5%
3 民間の習いごと・教室	30.3%	8 その他(具体的に:)	7.6%
4 店での扱いや店員の応対・態度	11.9%	9 特に感じない	22.2%
5 まちなかでの人の視線	33.5%	無回答	1.1%

問34 お子さんは、調布市が配布しているヘルプカード※、ヘルプマーク※をもっていますか。
(それぞれ1つに○)

①ヘルプカード	1 もっている、いつも、もち歩いている	11.4%
	2 もっているが、もち歩いていない	19.5%
	3 もっていないが、ほしいと思う	22.7%
	4 もっていないし、必要ない	43.2%
	無回答	3.2%
②ヘルプマーク	1 もっている、いつも、もち歩いている	21.1%
	2 もっているが、もち歩いていない	17.3%
	3 もっていないが、ほしいと思う	21.1%
	4 もっていないし、必要ない	38.4%
	無回答	2.2%

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある人に限らず、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。



調布市民福祉センター調査【障害児アンケート(保護者)】

問35 お子さんは、ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったことがありますか。(1つに○)

1 ある	11.9%	2 ない	21.1%	3 もっていない・わからない	63.8%
無回答 3.2%					

7 保護者の方に、デジタルの活用についておたずねします

問36 あなた(保護者)は、調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

1 市のホームページ	41.1%	5 家族、友人・知人からの口コミ	33.0%
2 市の広報紙・チラシ	62.2%	6 SNS	15.1%
3 市役所・相談機関などの窓口	19.5%	7 その他(具体的に:)	3.2%
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)、ラジオ	0.5%	8 特にない、情報は入手していない	5.4%
無回答 1.6%			

問37 お子さんやあなた(保護者)がスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使ってしたいこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)



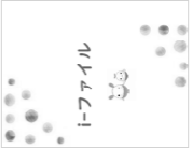
調布市民福祉センター調査【障害児アンケート(保護者)】

8 保護者の方に、調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問38 あなた(保護者)は、調布市が個別配布している「(あい-)ファイル」※をご存知ですか。(1つに○)

1 知っていて、使っている	36.2%	3 知らない	18.9%
2 知っていない	42.7%	無回答	2.2%

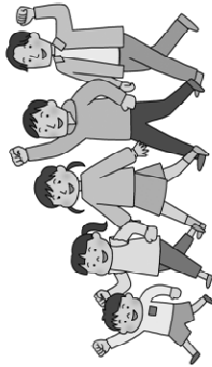
※「(あい-)ファイル」は、子どもたちが嫌やかたに成長するために、保護者ときさまざまな機関が連携・協力して支援できるよう、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容を書き込めるようにしたものです。
(配布場所)子ども発達センター、子ども家庭支援センターすこやか、子ども家庭センター、教育相談所、子ども政策課、障害福祉課、子ども育成課



「(あい-)ファイル」

問39 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)		知っている	知らない	無回答	説明
ア	子ども発達センター	95.1%	4.3%	0.5%	お子さんの発達に心配や不安を抱える保護者からの相談に応じ、発達に遅れやかたよりのあるお子さんに専門的支援を行います。
イ	子ども家庭支援センターすこやか (国領コソスクエア2階)	93.5%	5.9%	0.5%	子どもに関する総合相談(子育て・児童虐待等)のほか、情報や遊びの提供、子どもの一時預かりを行う施設です。
ウ	教育相談所 (調布市教育会館6階)	75.1%	24.3%	0.5%	お子さんの教育に関する心配ごとについての相談をお受けしています。
エ	教育支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー (調布市教育会館5階)	43.8%	54.6%	1.6%	教育全般及び福祉的な観点から、家庭や学校に関する相談をお受けしています。
オ	子ども家庭センター (文化会館なつくり西館)	74.6%	24.3%	1.1%	乳幼児の健康診査や成人のがん検診などの健診事業を提供し、保健師・栄養士・歯科衛生士などが育児相談や健康相談に応じています。
カ	障害者虐待防止センター (障害福祉課)	18.4%	80.0%	1.6%	障害者の虐待に関する相談・通報を受けける窓口です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート（保護者）】	
問40 調布市の障害児福祉施策（サービス）をより充実していくために、あなた（保護者）が特に重要と考える取組は何ですか。（いくつでも○）	
1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口	62.2%
2 健康づくりや地域での医療サービス	20.0%
3 手当や医療費の助成などの経済的な支援	56.8%
4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援	36.2%
5 ホームヘルパーなど、在宅生活を支援するサービス	18.4%
6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	22.2%
7 保護者の病氣など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	51.4%
8 発達に関する相談や療育の充実	64.3%
9 保育園・幼稚園などにおける受入れの推進	34.6%
10 特別支援教育の充実	53.0%
11 放課後などの活動場所（放課後等デイサービスなど）の整備	67.0%
12 学校卒業後の日中の活動場所（作業所などの障害者施設）の整備	45.4%
13 企業などで働くための支援（就労支援）	43.2%
14 趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	36.8%
15 グループホームなど地域における住まいの場の整備	31.4%
16 障害理解の促進や差別の解消	36.8%
17 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	25.9%
18 障害に応じた多様な情報提供の充実	40.0%
19 災害時の支援体制の整備	25.9%
20 デジタル技術を活用した、情報提供や意思疎通支援	18.9%
21 その他（具体的に： ）	5.9%
無回答	1.6%



調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート（保護者）】	
問41 市民同士が互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、以下の①～③の取組が重要です。これらの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。（自由記述）	
取組番号	
①地域活動の活性化・市民同士の支え合いの仕組みづくり	
②相談・サービスの充実	
③安全・安心の確保等	
取組番号： ① ・ ② ・ ③ （いずれかに○。複数選択可）	
ご意見、ご提案	
3つの取組以外で気になっていること	

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます（令和8年4月頃の手定）。



刊行物番号

2025-260

調布市民福祉ニーズ調査報告書

発行：令和 8（2026）年 3 月

編集：調布市 福祉健康部 福祉総務課

〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1

電話 042-481-7101, 7102 Fax 042-481-7058